

# 【社会福祉協議会の活動に関する意識調査】

## 報 告 書

令和6年3月

社会福祉法人 八郎潟町社会福祉協議会

## 1. 調査の概要

### (1) 調査目的

八郎潟町社会福祉協議会が実施している事業及び、社会福祉協議会に対する住民の意向を把握し、事業の充実や見直しを図るとともに、必要と思われる新規事業の導入も視野に入れた「第5次八郎潟町地域福祉活動計画」を策定することを目的に、住民の意識調査を実施した。

### (2) 調査の対象及び期間並びに方法

#### ア調査対象

八郎潟町に住む18歳以上96歳未満の男女約4,800人のなかから1,325人を無作為に抽出した。

#### イ調査期間

令和5年12月8日から令和6年1月25日まで

#### ウ調査方法

地域福祉協力員による留め置き調査

(対象者へ訪問、内容説明し手渡し、後日再訪問し回収)

## 2. 回収成績

回収： 1,085件

回収率： 81.9%

## 3. 分析方法

(1) 調査票をそれぞれ単純集計する。

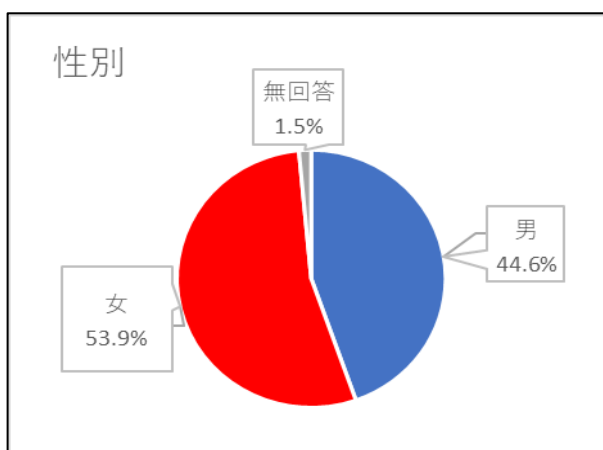
(2) 事業に対する期待度と満足度をクロス集計して、4つの象限にグラフ化する。

※(1)の単純集計の結果については、四捨五入の関係により合計が必ずしも100%にならないものもあります。

## I. 調査分析結果（単純集計）

### 1. 性別

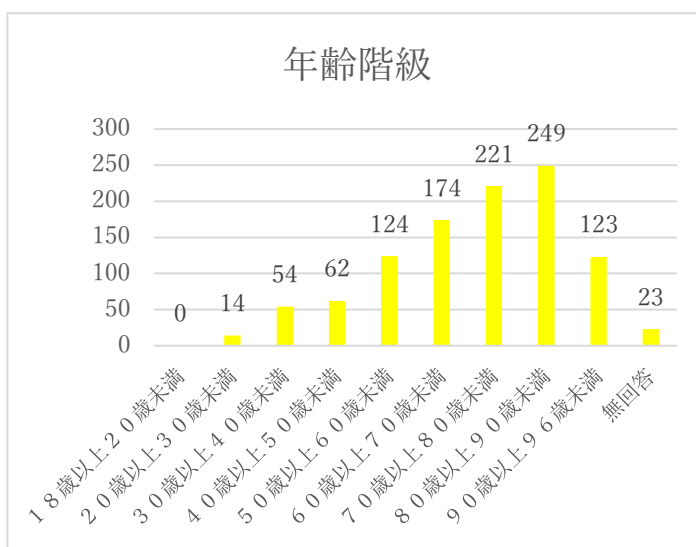
性別	件数	%
男	484	44.6%
女	585	53.9%
無回答	16	1.5%
合計	1,085	100.0%



回答者の性別は、男484名（45%）、女585名（54%）であった。

### 2. 年齢階級

年齢	人数	%
18歳以上20歳未満	14	1.3%
20歳以上30歳未満	54	5.0%
30歳以上40歳未満	62	5.7%
40歳以上50歳未満	124	11.4%
50歳以上60歳未満	174	16.0%
60歳以上70歳未満	221	20.4%
70歳以上80歳未満	249	22.9%
80歳以上90歳未満	123	11.3%
90歳以上96歳未満	23	2.1%
無回答	41	3.8%
合計	1,085	100.0%



回答者の年齢構成は、70歳以上80歳未満が最も多く249人（22.9%）で、60歳以上が全体の56.7%を占めている。高齢化によると思われるが、比較的若者が多いアパートの住民の未回収も、若干影響していると思われる。回答者の平均年齢は、61.4歳であった。

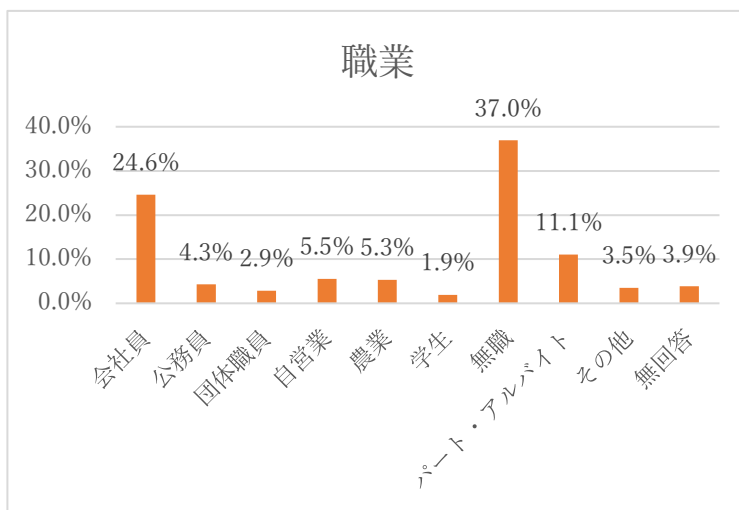
### 3. 配偶者の有無

配偶者の有無	件数	%
配偶者あり	507	46.7%
配偶者なし	298	27.5%
無回答	280	25.8%
合計	1,085	100.0%

回答者の46.7%が配偶者ありで、配偶者なしは27.5%であった。

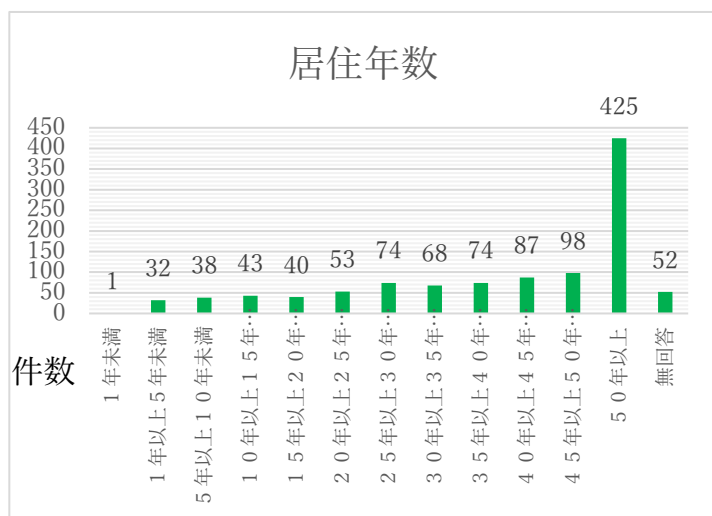
### 4. 職業

職業	件数	%
会社員	267	24.6%
公務員	47	4.3%
団体職員	31	2.9%
自営業	60	5.5%
農業	58	5.3%
学生	21	1.9%
無職	401	37.0%
パート・アルバイト	120	11.1%
その他	38	3.5%
無回答	42	3.9%
合計	1,085	100.0%



回答者の職業は、無職が最も多く401件(37.0%)で、次いで会社員の267件(24.6%)、パート・アルバイトの120件(11.1%)、自営業60件(5.5%)、農業58件(5.3%)などの順となっている。

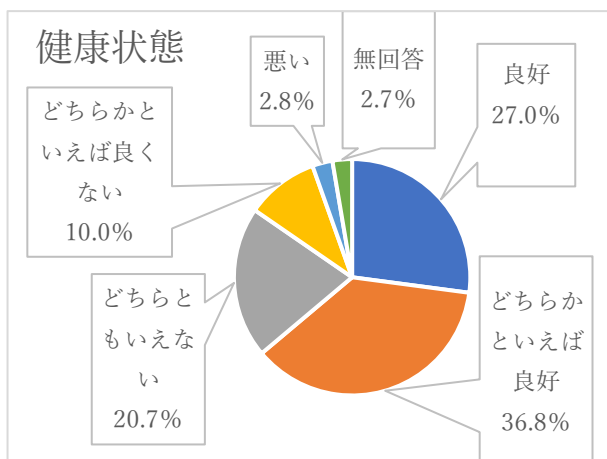
### 5. 居住年数



回答者の居住年数が、一番多かったのは425件の50年以上で、25年以上となると931件で全体の85%以上となっている。

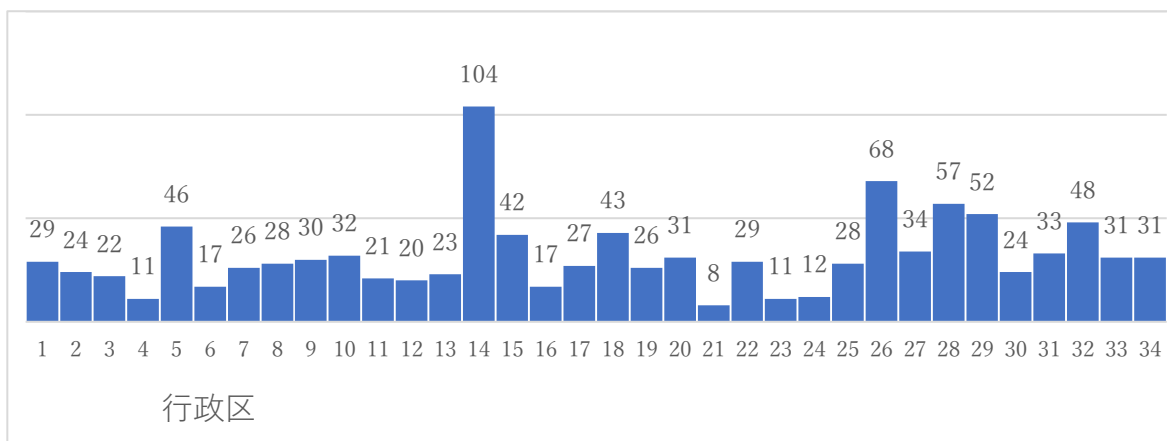
居住平均年数は、43.2年であった。

## 6. 健康状態



自覚している健康状態では、どちらかといえば良好が37%で一番多く、続いて良好が27%、どちらともいえないが21%、どちらかといえば良くないが10%、悪いが3%となっている。

## 7. 回答者の居住する行政区

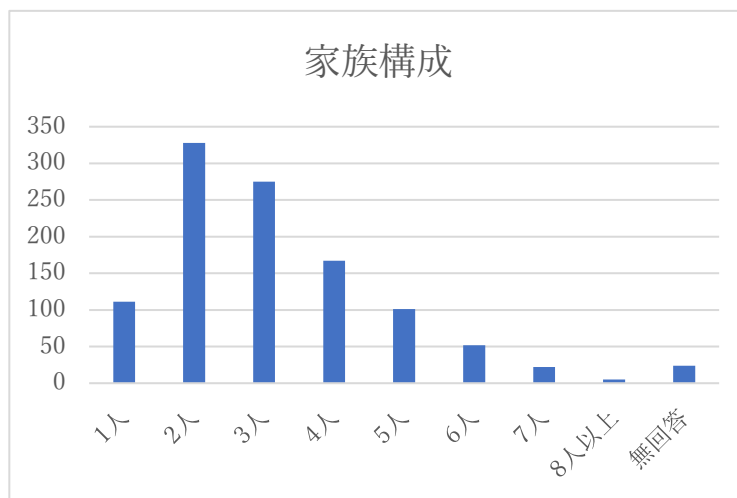


回答者が居住している行政区については、概ね世帯数に比例しているが、5区、14区、18区、26区、28区、29区などは、新興住宅地や新築家屋、アパートにより、世帯数が増えた地区といえる。

## 8. 家族構成

家族構成

構成	件数	%
1人	111	10.2%
2人	328	30.2%
3人	275	25.3%
4人	167	15.4%
5人	101	9.3%
6人	52	4.8%
7人	22	2.0%
8人以上	5	0.5%
無回答	24	2.2%
合計	1,085	100.0%



回答者の家族構成を見ていると、2人が328件(30.2%)で最も多く、次いで3人が275件(25.3%)となっている。1人から3人の家族構成が全体の65%を占めており、1人暮らしや高齢者のみの世帯の増加、あるいは核家族化が進んでいるといえる。世帯当たりの平均構成人員は、3.1人であった。

## 9. 65歳以上の家族の有無

65歳以上の家族

有無	件数	%
いる	704	64.9%
いない	347	32.0%
無回答	34	3.1%
合計	1,085	100.0%

## 10. 18歳未満の家族の有無

18歳未満の家族

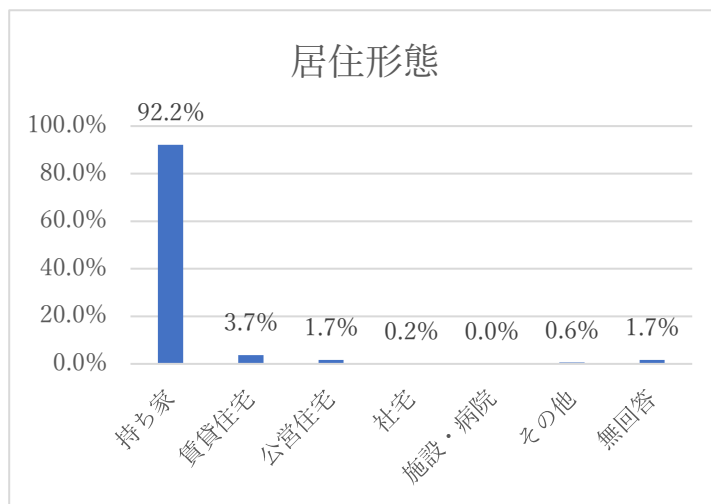
有無	件数	%
いる	186	17.1%
いない	822	75.8%
無回答	77	7.1%
合計	1,085	100.0%

65歳以上の家族がいる回答者は704件(64.9%)、18歳未満の家族がいる回答者は186件(17.1%)であった。このことから、少子高齢化の進行が見てとれる。また、配偶者がいない若年層も多いことから、これまで以上に少子高齢化の進行や介護問題などの増加が懸念される。

## 1 1. 居住形態

居住形態

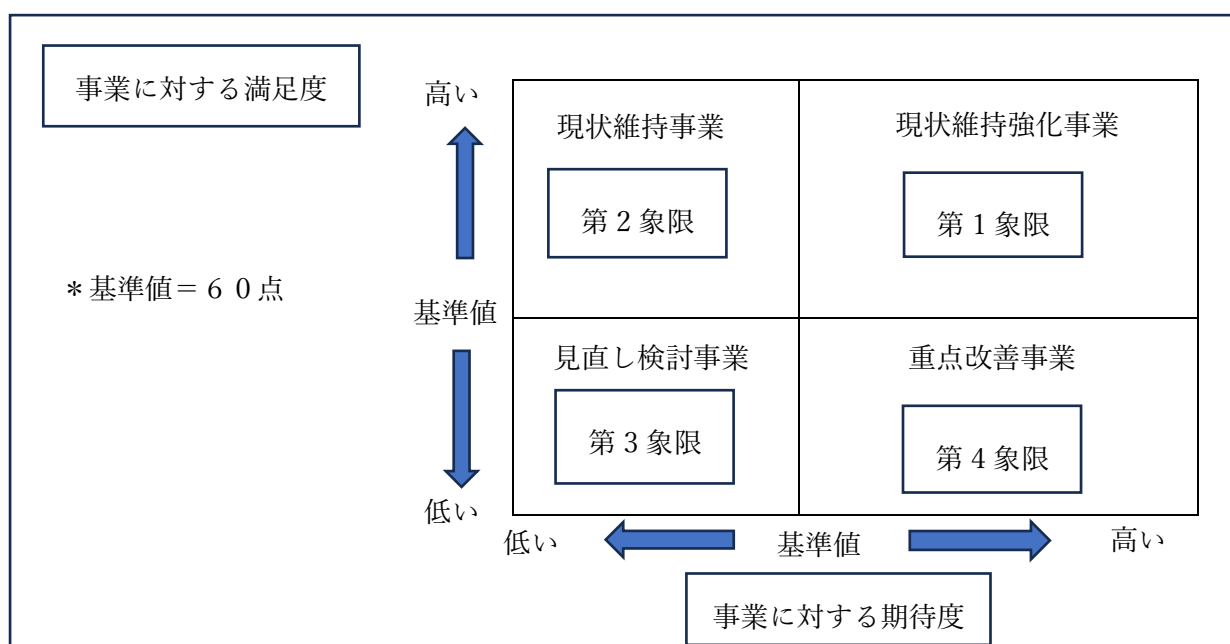
居住形態	件数	%
持ち家	1,000	92.2%
賃貸住宅	40	3.7%
公営住宅	18	1.7%
社宅	2	0.2%
施設・病院	0	0.0%
その他	7	0.6%
無回答	18	1.7%
合計	1,085	100.0%



回答者の居住形態は、持ち家が1,000件（92.2%）と最も多かった。また、賃貸住宅が40件（3.7%）で、公営住宅の18件（1.7%）を上回っていた。

## II. 町民の社会福祉協議会の事業に関する意識調査の結果の解説（クロス集計）

### ◎「期待度と満足度の相関図」における各エリアの説明



※象限とは、1平面を直交する二直線で仕切ることができる四つの部分の一つ一つ

#### 第1象限：現状維持強化事業

社協事業に対する満足度が高く、その期待度も高いとされる分野。  
(住民は現状で満足しているが、さらなる展開を望んでいると思われる分野)

#### 第2象限：現状維持事業

社協事業に対する満足度が高く、その期待度は低いとされる分野  
(住民は現状に満足しており、さらなる展開を望んでいないと思われる分野)

#### 第3象限：見直し検討事業

社協事業に対する満足度が低く、その期待度も低いと思われる分野  
(住民は現状に満足していないが、さらなる展開も望んでいないと思われる分野)

#### 第4象限：重点改善事業

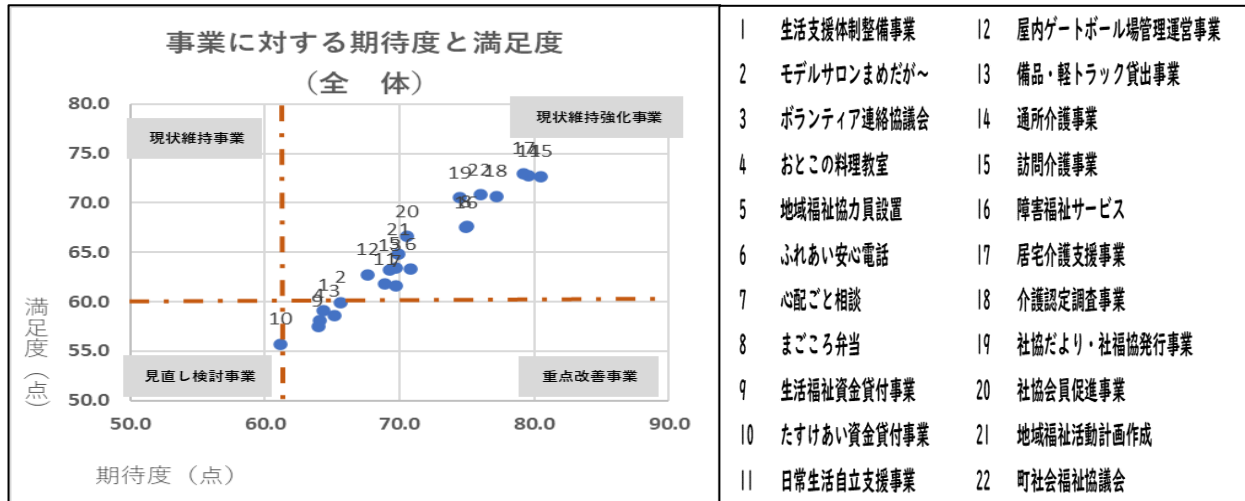
社協事業に対する満足度は低く、その期待度は高いとされる分野。  
(住民は現状に満足しておらず、さらなる展開を望んでいると思われる分野)  
※社協事業に対する要望が最も高い分野



### III. 調査結果

それぞれの事業に対する住民の周知度が異なることから、事業に対して全く知らなかった群と聞いたことがある群、よく知っていた群の3つの群ごとに事業に対する住民の意識を平均してまとめると次のようになる。

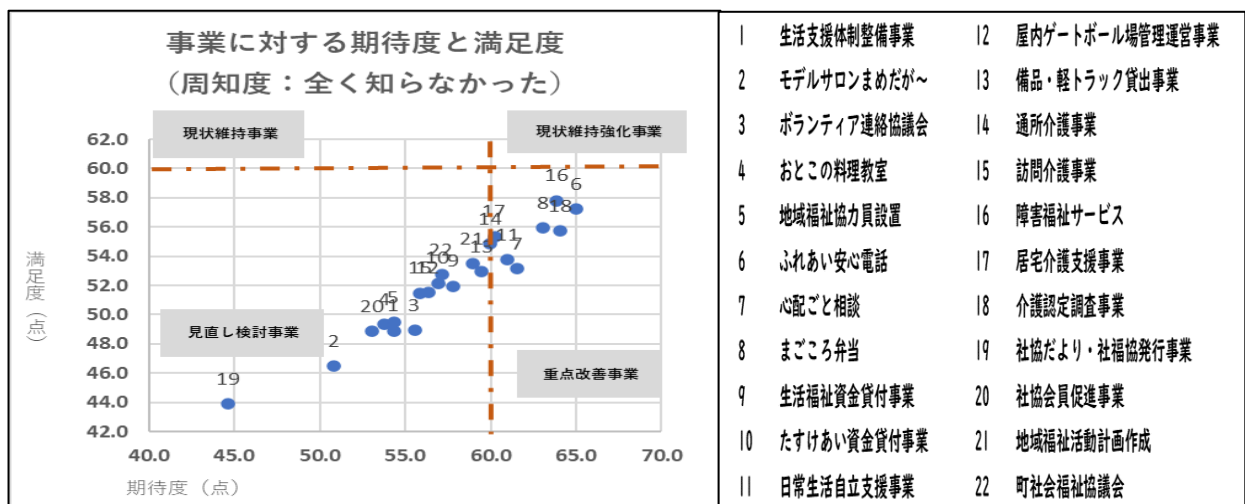
#### (1) 実施している事業に対する住民の期待度と満足度（全体像）



実施している事業に対する住民の期待度と満足度は、生活支援体制整備事業、モデルサロン“まめだが〜”、ボランティア連絡協議会、地域福祉協力員設置、生活福祉資金貸付事業、たすけあい資金貸付事業の期待度は高いが、満足度が基準値に達しておらず、重点改善事業であった。

それ以外の事業については、全ての事業で期待度と満足度が基準値に達していることから順調な運営がなされているとし、現状維持強化事業であった。

#### (2) 実施している事業に対する住民の期待度と満足度（全く知らなかった）

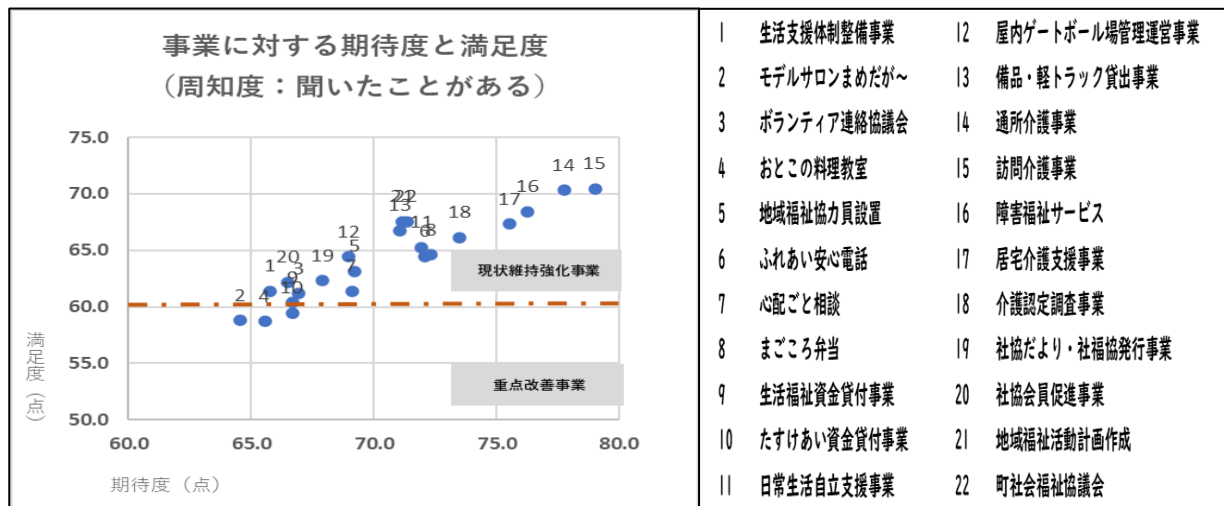


それぞれの事業の周知度が、全く知らなかった群では、事業に対する満足度が基準値に達している事業はなく、期待度の基準値に達している重点改善事業は、心配ごと相談、男の料理教室（高齢者ステップアップ事業）、まごころ弁当、日常生活自立支援事業、通所介護事業、障害福祉サービス、居宅介護支援事業、介護認定調査事業の8事業であった。

それ以外の事業は、満足度と期待度がともに基準値に達しておらず、見直し検討事業であった。

この群では、すべての事業に対して期待度と満足度が低い結果が出たことから、取り組んでいる事業の周知度を高めることで、事業に対する期待度と満足度を高める可能性があることが示唆される。

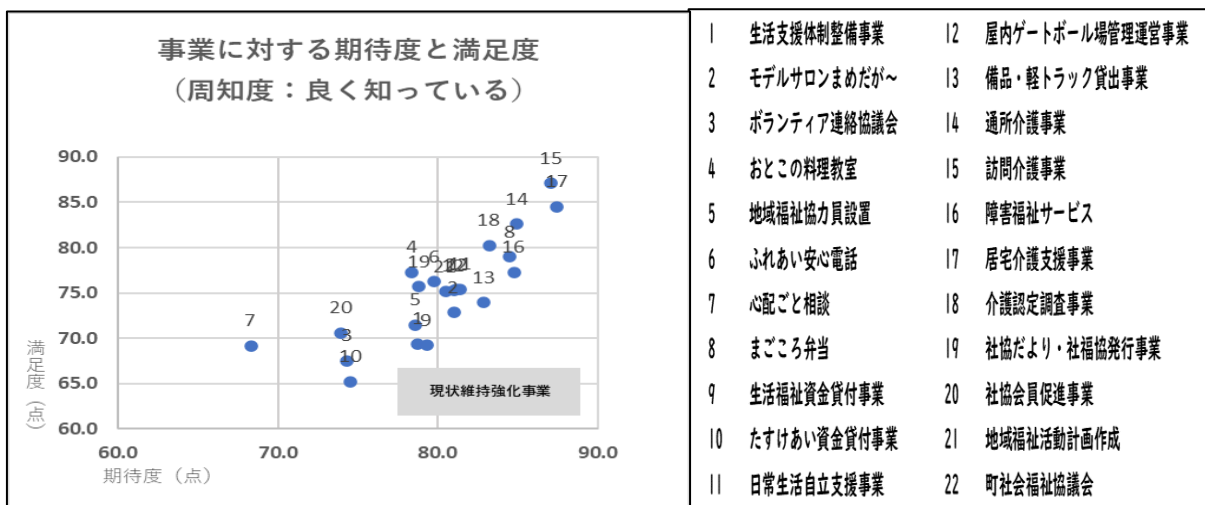
### (3) 実施している事業に対する住民の期待度と満足度（聞いたことがある）



それぞれの事業の周知度が、聞いたことがある群では、モデルサロン“まめだが～”、地域福祉協力員設置、たすけあい資金貸付事業が満足度の基準値に達しておらず、重点改善事業となっている。

それ以外の事業については、すべて期待度と満足度の基準値に達しており、順調に運営されている評価がなされていることから、現状維持強化事業であった。

(4) 実施している事業に対する住民の期待度と満足度（よく知っている）

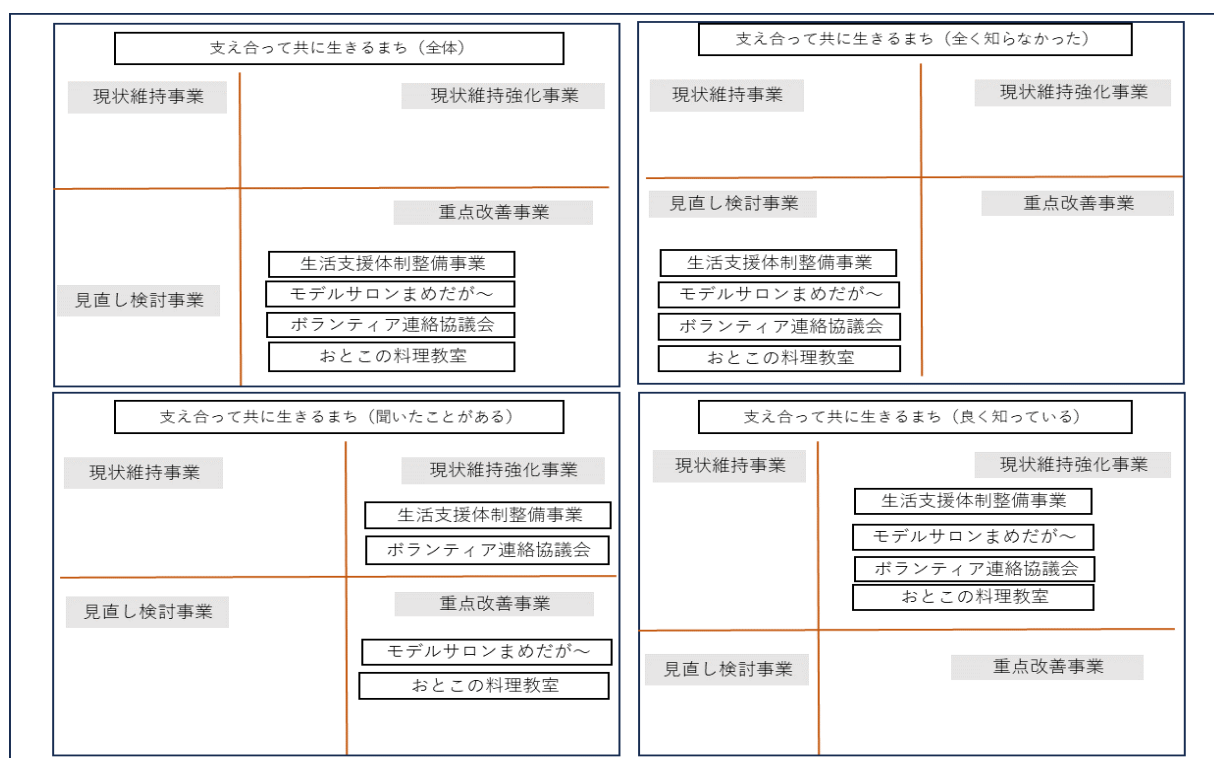


それぞれの事業の周知度が、良く知っていると回答している群では、すべての事業で期待度と満足度が基準値に達しており、順調に運営されている評価がなされていることから、現状維持強化事業であった。

資料 事業に対する町民意識調査一覧

事業名	全体				周知度(全く知らなかった)				周知度(聞いたことがある)				周知度(良く知っている)			
	回答者数	周知度	期待度	満足度	回答者数	%	期待度	満足度	回答者数	%	期待度	満足度	回答者数	%	期待度	満足度
1 生活支援体制整備事業	1,016	57.1%	64.4	59.1	436	42.9%	54.3	48.9	511	50.3%	65.8	61.4	69	6.8%	78.7	69.4
2 モデルサロンまめだが～	990	72.7%	65.6	59.9	270	27.3%	50.8	46.5	693	70.0%	64.6	58.8	27	2.7%	81.0	72.9
3 ボランティアア連絡協議会	1,004	51.5%	65.2	58.6	487	48.5%	55.6	48.9	455	45.3%	66.9	61.2	62	6.2%	74.3	67.5
4 おとこの料理教室	996	59.3%	64.0	58.1	405	40.7%	53.8	49.3	564	56.6%	65.6	58.7	27	2.7%	78.4	77.3
5 地域福祉協力員設置	1,006	71.8%	69.7	63.4	284	28.2%	54.3	49.5	549	54.6%	69.2	63.1	173	17.2%	78.6	71.5
6 ふれあい安心電話	1,021	39.4%	70.8	63.3	619	60.6%	65.0	57.2	311	30.5%	72.1	64.5	91	8.9%	79.8	76.3
7 心配ごと相談	1,007	64.1%	69.8	61.6	362	35.9%	61.6	53.2	629	62.5%	69.1	61.4	16	1.6%	68.3	69.2
8 まごころ弁当	1,011	72.3%	75.0	67.6	280	27.7%	63.1	56.0	525	51.9%	72.3	64.6	206	20.4%	84.5	79.0
9 生活福祉資金貸付事業	1,008	35.3%	63.9	57.5	662	64.7%	57.8	52.0	305	30.3%	66.7	60.4	51	5.1%	79.3	69.2
10 たすけあい資金貸付事業	1,011	17.8%	61.2	55.7	831	82.2%	56.9	52.2	152	15.0%	66.7	59.5	28	2.8%	74.6	65.2
11 日常生活自立支援事業	1,006	41.0%	68.9	61.8	594	59.0%	61.0	53.8	349	34.7%	71.9	65.3	63	6.3%	81.4	75.4
12 屋内ゲートボール場管理運営事業	984	50.3%	67.6	62.7	489	49.7%	56.3	51.5	445	45.2%	69.0	64.4	50	5.1%	81.0	75.3
13 備品・軽トラック貸出事業	1,006	51.0%	69.3	63.2	493	49.0%	59.5	53.0	426	42.3%	71.1	66.8	87	8.8%	82.9	73.9
14 通所介護事業	1,001	83.5%	79.6	72.8	165	16.5%	60.0	54.8	777	77.6%	77.7	70.3	59	5.9%	85.0	82.6
15 訪問介護事業	1,000	85.3%	80.5	72.7	147	14.7%	55.9	51.5	804	80.4%	79.0	70.4	49	4.9%	87.1	87.1
16 障害福祉サービス	1,003	58.4%	75.0	67.5	417	41.6%	63.9	57.8	518	51.6%	76.3	68.4	68	6.8%	84.8	77.3
17 居宅介護支援事業	1,015	79.8%	79.2	73.0	205	20.2%	60.2	55.4	507	50.0%	75.5	67.3	303	29.9%	87.5	84.5
18 介護認定調査事業	1,008	73.7%	77.2	70.7	265	26.3%	64.1	55.7	459	45.5%	73.5	66.2	284	28.2%	83.2	80.2
19 社協だより・社福協発行事業	1,014	91.7%	74.5	70.5	84	8.3%	44.7	43.9	387	38.2%	67.9	62.3	543	53.6%	78.8	75.7
20 社協会員促進事業	998	81.7%	70.6	66.6	183	18.3%	53.0	48.9	330	33.1%	66.5	62.2	485	48.6%	74.0	70.6
21 地域福祉活動計画作成	987	53.0%	69.9	64.8	464	47.0%	58.9	53.5	432	43.8%	71.1	67.5	91	9.2%	80.5	75.2
22 町社会福祉協議会	999	84.3%	76.0	70.8	157	15.7%	57.1	52.7	453	45.3%	71.3	67.6	389	38.9%	81.2	75.4

### III-1.支えあって共に生きるまちを目指した事業



支え合って共に生きるまちを目指した事業では、全体的にみるとすべての事業が、期待度が基準値に達しているが満足度が基準値に達しておらず、重点改善事業であった。また、良く知っている群では、すべての事業が期待度と満足度が基準値に達しており、現状維持強化事業であったが、全く知らなかった群では、すべての事業が期待度と満足度が基準値に達しておらず、見直し検討事業であった。

◆自由記載 (※自由記載で全く同じ文言やほとんど内容が同じ意見、要望などについては、割愛させていただきます。)

#### 【1. 生活支援体制整備事業】

・町の広報で「サロン」は知っているが、コーディネーターや協力員が携わっている事は知らなかった。特に町内会の協力員そのものが認識しているかどうか疑問。ぜひ社協でも広報に支援体制について掲載して欲しい。

・目指す目的は理解できますが、支え合える対象者がわからない。個人情報の点からわからないでもないが、オープンで地域住民同士の具体性が乏しい。

・私の住んでいる地域は昔ながらの集落なので、皆顔見知りで家族のことなどもわかっていて互いに助け合いをしている方だと思う。しかし若い人が少なく60～70代の皆さんも高齢となってくるとどうなのか不安である。

・昔からの居住者では、ある程度支え合う地域社会ができていると思う。アパートや新築住宅を

建てるなどで、新しく来た人へある程度のフォローは必要と思う。

- ・経験上、コーディネーターは民間企業出身者が適任と思います。公務員や教員のみの仕事経験者は、仕事内容や職種の特性からして、相応しくありません。(と考えます)
- ・高齢者の支え合いはすこし大切ですが、若い人の思いがもっと大切だと思います
- ・分かる人は分かるし、知らない人は全く知らない。支え合うのは良いことだが、支え合い方が重要では。 ・個人のプライバシーを大切にしてくれれば良いと思います。
- ・活動自体が活発ではないように思われる。 ・町との一体化が、必要と思う。
- ・協力員の活動を活発化し住民の不満の吸い上げをして欲しい。
- ・いい企画だと思いますが、歩けない人でも他人を家の中に入れるのは嫌いな人もいます。
- ・なにがとも、あまり干渉しすぎにならない配慮が大事。一声かけるような所から、始めてもらいたい。 ・支援体制の充実に努め、今後も継続して事業を推進してほしい。
- ・大変良い事業だと思いますが、十分に住民の意向に添い進めるべきでしょう。それが住民の何分の1であろうとも数にはあまり関係ないと思います。
- ・知らなかったという事は、PR不足かと思います。しかし、近々にお世話になる場合もあり得る年齢です。何に詳しく記されていたでしょうか？
- ・八郎潟町に住んでいながら、このような事業を詳しく知らないし、今現在知る機会もありませんでした。これから益々高齢化が進んでいく中でサロンや相談会などはとても必要なことと思います。
- ・あまり興味を持って情報を得ようとはしていなかったのですが、活動内容は分からないのですが高齢者や独居の方も多と思うのでこの取り組みは良いと思います。利用されている方の声も聞きたいと思いました。
- ・今のところ実感はないが、間もなく職場を離れると思うので、そうなったら色々期待するかな。
- ・仕事をしており、地域の活動に参加することも少ない。仕事を辞めることになった場合は、居場所づくり、住民同士の支え合い本当に必要だと思います。その為にもこのような窓口があったら・・・私も利用したいし、安心できると思います。
- ・仕事上、三種町の社協と連携して小学校の授業でサロンや福祉教育を行うことが多いが、八郎潟の現状についてはよく知らないので、今後情報を集め活用していきたい。
- ・住民同士の支え合いの必要性は感ずるが、住民個々の自由やプライバシーとの兼ね合いが難しい気がする。コーディネーターの活動に期待したい。
- ・生活支援体制事業のPRが不足していると思う。サロンなどを利用したいと思っても、具体的にどうすればいいのか。あまり情報が伝わっていないので、もっと活用できるやり方を工夫してほしい。
- ・参加者から大変おもしろかった、よかったとの声があった。もっと広がれば良いと思う。  
※モデルサロンの事？違いがわからない。
- ・”地域支え合い推進員”とは良い事業だと思います。推進員どうしが学び合える機会を設けて、よりよい取り組みが広がっていただければと期待します。
- ・モデルサロンの活動では、居場所づくりとしても有効に働いているが、実施地区が固定化しつつあり、他の地区の居場所づくりの実態を把握することで情報発信のやり方を工夫する手がかかりになるのではないか。コーディネーターの動きがもっと見えるようになって良い。

- ・とても良い取り組みだと思います。隣、近所への声掛けを大切にして、色々な事に一緒に参加できるようにしたいものです。
- ・町内会及び福祉協力員等と連携して、居場所づくりを見出す努力が必要ではないか。
- ・高齢化時代にとっては、こういう事業も大切と思う。
- ・地域で協力できるような、体制をつくってもらいたい。
- ・母がサロン等を利用して非常に良いシステムだと感じています。母から聞く限りですが、参加する人は良いですが、参加しない人も多々いると聞いています。色々と問題もあると思いますが参加率上げてできるシステムなら100点だと思います。
- ・地域の生活センターの活用がうまく出来ていると思います。
- ・サロン等に行くまでの行動に移すのが難儀である。
- ・いつも同じ顔触れでなく、誰もが気軽に参加できて集まった人達が笑い合える居場所であってほしい。 ・仲良しな人たちの集まりという印象。新しい人たちは入っていけない。
- ・サロン、ぬくもり相談会等若い人、年配者が広く活動に参加出来るようなイベントの構築を思ったほうが良いように思われる。 ・サロンは知っているが行きづらいところも有る。
- ・介護認定されていないと有料で行けないと年寄りは思っています。サロンなので楽しくいつでもむかえに来て欲しい。歩くのがた大変で行けない点もあります。
- ・幅広い年齢層に広げていくこと
- ・一人暮らしや高齢者が安心して暮らせるように、健康づくりや高齢者同士の親睦交流に取り組んでいただき、ありがとうございます。
- ・今のところ、車の運転も出来るので買物などは出来ますが、1人暮らしで、町内に親族も住んでいません。急に体調が悪くなって、救急車のお世話になった場合など、私一人では対処出来ない事が起こった時に備えておきたいのですが、緊急連絡先や、子どもの電話番号などの個人情報などを町や地域福祉協力員の方などに、お知らせする、しておく等のマニュアルがあったら、登録しておきたいと思います。
- ・今は良くてもネット世代が高齢化していった場合、特に居場所づくりに力を入れたら良い。
- ・ぬくもり相談会には大いに期待しています。今後独居老人が増えてくると思われますが、その時相談相手になったり、関係機関へ繋げたりしてほしいものです。訪問していただけるとより助かります。現在もやっていただいておりますが、さらなる充実を。
- ・住民同士が支え合う地域を感じた事はありません。地域の人達となるべく関わるように心掛けていますが、こちらから行かないかぎり、他の人からは関わってきません。
- ・他の地域から来た人はなかなか入りづらいです。だから他の地域のサークルに参加しています。
- ・今すでに町にいる人だけではなく、集落支援員や町おこし協力隊等の制度を可能な限り利用して、町の外から若い人に来てもらい参画してもらおう方が得策です。膠着した町や集落の関係性には新鮮な風が必要です。これは社協の事業全体に言えることと思料します。
- ・住民同士が支え合える地域社会とは？聞いた事はあるが良く分からない？
- ・今、現在の高齢者増加傾向に在る状況において、生活支援コーディネーターはどれ程の役目を果たしているのか疑問に思う。
- ・私の場合何十年も、住民同士が支え合える区にしたいと仲良くしていれば、ある人が嫌がらせや仲間をすぐ取って悪くさせられ、この町内はどうなっているのか。また、買い物のスーパーま

で電話や盗撮させられ、今は何十年もの年月日中は主人と又は一人で家で自分で勉強したり、自分の趣味や運動して一人で過ごして何十年もなるので、全然住民が支え合える地域とは知りませんでした。

- ・自分の気持ちを伝える場所がない。老人クラブは存在し、会費など払っているが、集まる機会などもないし、奉仕活動もしたいが、アピールする何ものもない。
- ・社会福祉協議会という名前すら知らなかったし、活動内容も全然知りませんでした。町の広報すら見ないので情報を知りたいとも思いませんでした。日中仕事でいないのでよくわかりません。
  - ・活動をもっと見えるようにしたらいかがですか。
- ・もっと分かり易いお知らせ等が必要だと思います。
  - ・名称がかたくてピンと来ない。
- ・広報などにてその言葉・意義等を町民に知らせる必要があると思います。事業がどのようなことを行っているのかもわかりませんでした。
- ・～員、～員といった人たちの活動が目に見えない。
  - ・抽象的で分かりにくい。
- ・どのような体制になっているか、わからない。
  - ・知らない！
- ・理解できない事がたくさんありました。利用したことがないので、全く分かりません。
- ・仕事していると、参加する機会がない。あまり考えたことはない。
- ・生活支援コーディネーターが誰だかもわからない。高齢者に知らせてほしいです。
- ・町民同士の交流がないので、支援体制の仕組みがわからない。
- ・76歳になるまで福祉に関しては機関紙を見るぐらいで、全くの無知でした。
- ・大変良いことと思いますが、現状、情報が不足では無いかと感じています。
- ・子ども食堂が全国に多くあるが、真坂にはない。高齢者と子供たちがふれあい、月1回食事で和やかにしたいものである。
  - ・老人にタクシー券をあげているのを、続けて下さい。

## 【2. モデルサロンまめだが～】

- ・交流の場づくりを提供していることは参加しようと考えている住民にとっては良いことだと思う。
  - ・今後も続けて行ってほしい。
- ・以前参加したことがあるが、大変楽しかった。居場所がある事は、とても大事だと思う。
- ・地域住民を思っている事業、大変ありがたい事だ。今回の思いがけないアンケートで内心びっくりその趣旨内容を知りなるほどと思う。まめだが～が発足した当時、私も何度か知人に誘われ参加し、健康教室や秋田民謡の手ほどきを受ける。元気な女性陣でいっぱい。現状はどうだろうか。人口減の今こそ自主的に住民が参加するのが理想だが、人様々で簡単のようで難しい。
- ・町内で2回開催していますが、大変、好評だったと思います。飲み物、お菓子付きなのもうれしいことです。次回はまた一人でも多くの人に参加してもらえよう、一層の声掛けをしていきたいものです。
- ・前回は「特殊詐欺被害防止について」の講話に参加しました。落語、フォークソング等もあり、楽しい時間を過ごしました。又、機会があれば参加したいと思います。
- ・モデルサロンに参加し、めったに会わない近所の人達に会い、とってもなごやかなひとときを過ごすことができました。無理じいはできませんが、もっともっと参加して欲しい気持ちです。
- ・各種講座、健康教室が開催されている事は有難く思います。なるべく参加するよう時間をあわせて参加しますので、このまま続けて下さる様お願いします。



- ・地域住民の交流や居場所づくりのために必要と考えます。自主運営のためのリーダーの育成。
- ・あすなろ会（70代～90代）の集まりで、今は会員10人です。平成27年からで、1カ月に1回の集まりです。社協からも2～3回来ていただきましたが、又お願いしたいと思っております。（1月から3月まで冬休みに入ります）
- ・空き家を利用して集まる場所を提供してほしい。中央道の何方所かにイスを置いて休める場所があればいいなあ。近所で2～3人集まる時はあるが…。
- ・空き家を各地域の拠点として、活用できるのではないか！
- ・開催日程が合わないので参加した事はないが、時間の制約が無くなれば参加したいと思っている。
- ・各種講座や健康教室などの取り組みは特色ある取り組みであるとともに生涯学習の観点からも有益です。多様な講座を期待しています。
- ・住民が自主的に展開・運営していけるようになることを目指すとありますが、核となる人材育成の機会・場が必要かと思えます。
- ・行う場所を考え、移動できる（今日は1区とか2区とか）コミュニティを活用するなど、声掛けする方も必要では。
- ・健康（食事）教室に参加したことがあるが、もっと簡単な行事であってほしい。
- ・各種講座や健康教室は、個人によってニーズが異なるため、全員を満足させるのは困難。目的やテーマの絞り込みが肝要と考えます。
- ・住民同士の支え合いや居場所作りは必要だと思いますが、参加しにくい人もいますのでそこを考えてほしいと思います。
  - ・男性の参加が増えると良いと思う。
- ・高齢者が多くなり、会社でなく自宅者が多い中、老人の居場所を責任者として確保してほしいが。
  - ・各種講座等は町内会にも公開し、町内の住民に知ってもらいたい。
- ・名前“まめだが～”では何をしているかわからない。住民が名前を聞いて行きたいと思う（例）健康教室“まめだが～”など 行ってみたいと思うようにすべきでは？
- ・講座、健康教室など参加しましたが「おはようございます。」「ありがとうございました。」の一言で帰ってきます。他の地域のサークルだと仲間意識が芽生え、病気の事、老人ホーム、水害の事などその時々、参加者の皆で話題にして会話が弾みます。
- ・一部の住民が実施している気がする。事業全体をもっと宣伝してほしい。利用しやすい雰囲気が必要だと思う。
- ・大変良い事と思いますが、いくつになっても人間関係が難しい事が多いと感じます。いつも同じ人が来るような場所であってほしくないと思います。スタッフでもみなさんが声をかけ合って、色々な人が利用できる場であってほしい。
- ・”まめだが～”にボランティアとして参加してみたいと思っていた時期もあったが、自分自身地域の方とのつながりが薄く、きつと顔を出しても「あなた、何しにきた？」という感じになってしまうかなど、腰が引けてダメでした。もしよければ、たまにボランティアさんたちや利用者さんの声をチラシで配って、閉鎖的な空間でないと感じさせていただければ、マンネリから脱出できるかもしれませんね。
- ・地域住民の交流（日頃から）の場として、いろいろな活動の機会を提供してほしい。
- ・モデルサロンの設置はいい事ですが、高齢者の参加に対応した交通手段も配慮すべき事がある

と思う。

- ・町内の年配の方の参加が少なかったので、他町内で成功している事例を教えてほしい。
- ・一カ所で近くの方は良いが、もう少し全町の方々もみえられると、もっとにぎやかになると思います。(スタッフがいっぱいいるのでちょっと残念)
- ・サロンの活動内容がいまいちわかっていない。自分にとってはどういう活動計画があるのか知る由もなく答えづらい。PRが欲しい。 ・まだ会社員なので休日でないとは参加できない
- ・聞いたことはありますが、どういう事をするのか、内容がよくわかりません。
- ・いつ、どこに集まっているのか、誘われることもない。
- ・何やってんの？活動が見えない。PR不足でもっと活動をアピールするべき。
- ・年配の方が利用するものだと感じており、私たちの年代ではよくわからない。
- ・週2回(火、土)コミュニティセンターにて先輩たちとお茶会をしています。同年代に声かけはしていますが、とけこめないのが残念です。
- ・こういう場所って「主」的な人がいて、その人に気に入られないと居場所がないというイメージです。
- ・高齢の方だけが参加となっている気がする。若年層にも広げてみては？
- ・ややもすれば仲良しクラブになり、他の人は入りづらいものになりやすいと思う。やはり平等にということも重要だから行政が入ること期待します。さらに、八郎潟町は秋田県で一番小さい町だからモデル地区でなく、最初から町全体で良いと思う。
- ・今後、高齢化が進む中、地域住民が自主的に支え合うシステムを構築する役割が求められている。町内会等と連携して進めてはどうか。
- ・活動内容が良くわからない。特定のグループで固まっているので、参加したくても溶け込めない。
- ・以前から知ってはいたが、参加する気にはまだなれない。参加メンバーがある程度の年齢層で固まっている様にも思える。
- ・『まめだが〜』の言葉は聞いたことはあるが、集合場所の近隣住民のご老人方の集まりの会という認識でした。→住民同士の支え合いのその効果等の検証が行われておりますでしょうか。
- ・他町村から来た者として、定年を迎え、知らない人の中へ行くには、敷居が高い用に思う  
又、他者からの干渉は、受け入れ難い。
- ・私はメンタルハートの会員ですが、大変皆さん元気でよくおしゃべりをし、会の催し事に参加している(声を出して歌うこと、おどり、体操、ゲーム等)できれば町の多くの高齢者が集まることができれば〜？
- ・24区も10~15年前迄は、おばあちゃん達が多く集会所に行きおしゃべりを楽しんでいたけど、もう今は集まる人がいなくなっている。必要だと思うけど、開いてもどうかな？
- ・地域の交流だけでなく、近辺地域との交流も重視してはどうか。
- ・『まめだが〜』は年配の方が交流の場として利用しているイメージですが、若年者のかた向きのものもあるのか、若年者の方の利用もあるかは気になります。
- ・以前この場所にあったのを覚えているが、無くなっているのが残念に思う。地域の協力員の人達にもっと頑張ってもらいたい。
- ・モデルサロンまめだが〜に行ってみたいが足(移動手段)がないので参加できない。

- ・どの世代の人も参加できる場があれば良いと思います。又、会場までの足があればよい。
- ・広報で名前だけは聞いたことはありました。健康教室などの開催は良いと思います。会場までの足がない方達は参加できるのでしょうか。
- ・送迎はあるのか？どこでやっているのか、誰に言えば良いのかわからない。
- ・参加したいと思いますが、脚が歩行困難で行くことができません。
- ・男性が参加するのに勇気がいる。 ・一緒に参加する友人もいない
- ・勉強会なのか交流会なのか、ねらいがあいまい。 ・何を基準に開催地を選定しているのか。
- ・地域の文化、芸術、食を通じて体験する場がない。
- ・参加したい様なプログラムがあまりない ・住民が自主的となると、(長)が大変ですよ。

### 【3. ボランティア連絡協議会】

- ・小・中学校のボランティア活動はわかりますが、地域のボランティアはわかりません。
- ・内容が良く分からない？どの様な団体が有り、どの様な活動を行っているのか？
- ・ボランティア連絡協議会があることは全く知らなかった。自分もボランティアを18年目になりますが、先輩で30年以上も続けた人もいたが、誰も話したことはなかった。今は人員不足で悩んでいます。
- ・聞いたことがあります、活動内容までは理解していませんのでどのような事業をしているのでしょうか。
- ・ボランティアの仕事の内容が不明であり、いつ、どのような活動をしているのかも不明である。
- ・地域住民等は相互にボランティア、助け合いは不可欠だと思いますので、積極的に参加したいと思いますが、情報が足りないと思います
- ・災害がないので目立たないが、いざと言う時必要なもので、既存の活動を広報してほしい。
- ・ボランティア活動に参加したいと思う。種類、窓口などを具体的に広報などで紹介して頂きたい。
- ・ボランティア活動を行っている団体相互の情報交換や交流の実態が知りたいです。他の団体の活動状況とかの情報がわかれば良いと思います。
- ・貴協議会の活動や結果報告をもっとPRすべきではないか？
- ・ボランティアの実績をオープンするようにして、町民に知らせてほしい。
- ・現在どのようなボランティア団体があるか詳しく知りませんが、ボランティア活動の関心度を高めるために、情報発信の提供が大切に感じます。
- ・ボランティアの案内や活動に対しての募集が分からず、参加できないでいる方がいると思います。周知する方法はないのでしょうか？
- ・住民の多くは、協議会のことを知らないのでは？
- ・町の活動を自身として考え行動する町民の活動に少しでもなれたら良い。
- ・若い頃からだと大変良い事だと思う。(時間を作るのが大変だと思う。)
- ・五城目町の水害で”ボランティア”の活躍を、機関誌で頑張っている姿を拝見しました。高齢になると、参加するのに消極的になります。その中でも出来るものがあれば、参加したいと思えます。 ・必要であれば参加する。
- ・ボランティア活動をする方の年齢や実際に活動できる方に若い人の参加を期待できるかが問題

- ・コロナウイルス感染予防等のため、活動が本来のものになっていなく、主動する側も大変だとおもいます。 ・当事者の満足だけで終わらないように、活動や成果を見えるようにして下さい。
- ・高齢者、障害者などサポートが必要な人に対する声掛けや配慮をお願いします。
- ・水害などが多いのでいろんな人に情報が伝わりやすいようにして欲しい。
- ・冬の除雪作業を高齢者に対してもっと行っていただければよいと思います。
- ・ボランティア活動に関わっている方々の姿勢に敬意を表します。町の高齢化が進む中、メンバーの高齢化による人員の減少が心配されます。小・中学生のボランティア活動が紹介されていることから、子育て世代やボランティアを受けている人々の中から『こんなことができるんじゃないか』という声を上げる機会を作ってはどうか。
- ・ボランティア活動はあまりにもすそ野が広く、あるていど集約してもよいのでは。
- ・若い世代が少なくなっている他、どのくらい参加しているのかも分かりませんが、若い世代の参加を促してほしい。
- ・ボランティア活動を行っている八老連の皆さんと関わる機会があり、活動への意欲は感じられましたが、『ボランティアの意義』についての学習が足りていないように感じる場面がありました。個々のボランティア活動への意識の向上を望みます。
- ・ボランティア活動の団体組織の高齢化、空洞化、幽霊会員等の課題により、実際活動することが出来ない団体組織が多数であるため、連絡協議会の存在価値が薄れてきていると思いますので、ボランティア活動団体組織の在り方を再考して、違う面から再構築したら如何か。
- ・ゴミ、落葉拾い、集会所の清掃など、奉仕のテーマはある。各地区の福祉協力員などが、キッカケをつくってもらいたい。
- ・会員たちも高齢なので、日赤の炊き出しなどの時は、だれでも参加出来る様にした方がよい。
- ・本年7月の水害を見てもボランティア活動の輪が、これまで以上に必要となってくると思います。 ・公的な地域福祉に基づいた行政と密な連携が重要ではないかと考えます。
- ・連絡協議会は地域福祉のため、大人も子供にも絶対必要と考えます。親のボランティア活動の姿を見てるとよく解ります。
- ・以前よりは活動も縮小されたようにも感じられます。地域を活性化につなげる、・・・子供達のボランティア活動などは、地域住民を元気に明るくさせてくれると思います。
- ・ボランティア自体敷居が高いが、今年の大雨で五城目の大変だった所へ、県外の方々もボランティアに来ているのに、隣接する町に住んでいながら何もしなかった。自分でも何かできる事はなかったのかと感じる。上記の協議会とは関係ないかもしれませんが。
- ・ボランティアには興味がある。 ・ボランティアの募集場所を、増やしてみてもどうか
- ・五城目町の水害被害で他の町村が入浴施設を無料開放するなどしたのに、八郎潟町はオリンピック記念開会のシャワー1か所って情けなかったです。入浴施設がなくて協力できないなら、はちパルで給水やトイレどんどん使ってくださいとアナウンスする位できたと思います。
- ・ボランティアは必要ですが、あまり参加したくない。
- ・ボランティアできる状態ではない。なぜなら、生活するのに大変な状況。
- ・ボランティアも自分から参加はいいとしても、義務のようになってしまう感じがしないではないか。 ・高年齢化しているので活動できない。
- ・他人と接するのが苦手、八郎潟町の人仲間意識が強く、自ら輪の中に入っていけない人は取

り残される。 ・ボランティアの意味を、理解していない方が多いかと。

・ボランティアで地域福祉の向上につなげることは違うと思う。ボランティアの輪を広げて活動していくことは大変大切なことですが、ボランティアありきでと考えるのは基盤が弱いと思う。

#### 【4. おとこの料理教室】

・定期的に開催しては。 ・料理にとどまらず、男性の集まる場所があるとよいと思います。

・開催されていることは知っていますが、参加してみて参加後、どうなりましたか？高齢者だけではなく、若い時より参加し、料理を覚えていくのも大事ではないでしょうか。子育てが一段落した年代で、参加しやすい時間にあれば…と思います。もし私が亡くなった後簡単な「チン」する料理を覚えて…と思います。

・おとこの料理教室をみんなが参加しやすいようにしてほしい。

・男性が食生活の改善、充実を目指して活動することは、とても良い事と思う。高齢者のステップアップもよいが、より若い男性にも広げて行って欲しいものです。将来役に立つことと、今すぐ役に立つことで、家族の支援にもつながるし、男性の自己肯定にもつながると思う。

・町の広報に記載されていたと思いますが、社会福祉協議会の『高齢者ステップアップ事業』とはわかりませんでした。一人暮らし者のみの対象でなくともよろしいのではと思います。

・皆さん手慣れていて手際良くやられています。数名同じ方が参加されているようです。初めての方などが参加しやすいような募集方法や雰囲気にしたらどうでしょうか。

・高齢男性は女性が炊事、洗濯は女性がするものと決めている。町内会の総会等に役場職員が参加し、男性たちに参加を促すのも一案かも（どの位の方が料理教室に参加しているのかわかりませんが・・・）

・秋田市内など飲食業の人から、教えてもらおうといい。ペコリーナなど、それから香蔵など。色々な料理人が必要。

・開催日時を多岐に広げ様々な働き方の人に対し参加がより可能なかたちがあれば良いと思う。

・買い物から片付けまでお願いしたいです。

・一人暮らしの方が増えてきているので、このような取り組みは、とても良いことだと感じています。開催するにあたり、もう少し参加しやすい体制が整えられると良いのではないかと思います。例えば、住んでいる近くでの開催など。（町内中心部に來るのも大変な方がいると思うので。）

・教室に参加しているが、家では一度も作ったことがない。やろうともしない。家で一度位はやってくれる様に話をしてもらえないだろうか。

・社協だより等で様子をうかがうことができ、おもしろい試みだと感じた。生活力 up のためにもよい機会だと思う。 ・いい取り組みだと思います。長く続けてほしいです。

・男性が参加する事業は少なく、大変有意義な教室だと思います。

・かつて男は台所に立つべからず、そんな時代もあったが、今は自ら厨房に入り腕を振るう殿方もいる。年中食事作りをしている妻から見るとうれしいことで何より後々役に立つ。類は友を呼ぶ参加者が増え意義ある『男の料理教室』をもちたてて欲しい。

・おとこの人が料理をするのは、とてもいい事だし、いい企画だと思います。

・とても良い取り組みだと思います。男性ももっと社会参加してほしいです。

・男性が食を通じて、料理などの知識が向上されるよいきっかけになると思う。このような教室

を、もっと定期的に企画してほしい。

・商工会女性部の若い時に参加した思い出があります。主人は、何もしない人だった。男の人こんな料理ができる事にびっくりしていました。好きな人はどんどん参加して来る事と思います。これからも続けてください。

・高齢の男性の方は自分で食事を作ったり用意したりが得意な人が少ないようですから、このような教室に参加することが、コミュニケーションを取れることにもなるのでいいと思います。

・参加者がどの程度いるのかわかりませんが、男性が身の回りのことを一人でやれるようになることは将来的に大切だと思います。 ・参加したい。非常に良い事業と思う。

・食に対する教養を、1人暮らしの高齢者にも教えることが大切。フレイルにならないためにも。

・現在は必要ないが、いずれ参加したい。

・男性は、恥ずかしがらずどんどん参加して方が良いと思う。家族の為と自分自身のためにも。 ・男性の外出意欲を促すのに、良い取り組みだと思う。

・料理は女性だけでなく、男性も出来る様になってほしい。大変うれしい事業だと思います。

・料理教室の回数を増やしてもらいたい。

・参加者の年齢層はわかりませんが、今まで台所に入った事がなかった（だろう）方達が、自分や家族のために料理を作るのは、特に一人暮らしの方には良い教室だと思います。

また、歳をとれば弱くなっていく体を少しでも動かしながら他の人との交流もしながら楽しめれば良いと思います。

・奥さんに任せきりでなく、自ら進んで調理する心構えが素晴らしいと思います。このような応援もとても良いと思います。 ・おとこの料理教室大いに続けてほしい。

・参加人数の多少にかかわらず、潜在意識を高めるために必要ではないかと思います。

・何回かお手伝いしたことがあります。「男子も厨房に入るべし」と私は思っております。

・今は一人でもスマホ等で検索すれば料理は出来るが、より多くの人と一緒に作る事で楽しく又、新しい知識も得られそう。

・今は男・女は関係なく生きていく時代。生きていくことに食は重要。料理ができない男の人達にとってはありがたい。

・昨今は共働きの家庭が増えて、家事分担をして男性も料理を含む家事をする機会も増えていますが、まだまだ女性が家事を担う割合は圧倒的に多いのが現状で社会の問題点の一つでもあると思います。『男性は仕事に専念すれば良い』という時代では既にないと思いますし、様々な状況の変化や将来を見据えての事業だと思いますので、これからも力を入れて進めてもらいたいです。体調を整えるケアも合わせて行っているのもすばらしいと思います。

・高齢者の男性が食生活におもしろみを感じて参加することは、良いことです。健康のためにも。

・昔々、一度参加して面白かった。人集めの為もあったが、有効な企画だと思った。

・男性高齢者の一人暮らしを少しでも支える事業としては、とても良いことだと思います。

・参加者をもっとふやせるようとり組んでいけたらいいと思います。

・誘い合って行けたらいいと思います。 ・高齢男性の自立と地域連帯感を高めてほしい。

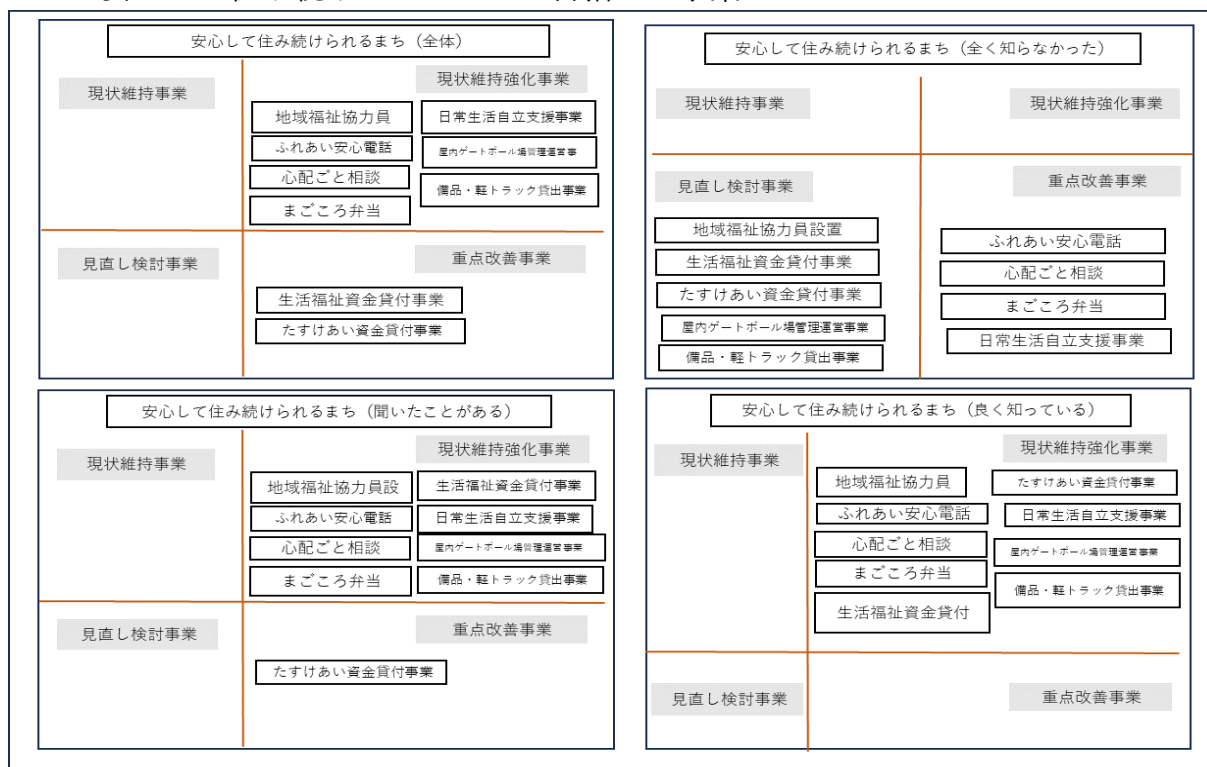
・一人暮らしの高齢者は簡単に食事を済ませて栄養バランスの偏りが心配されます。手軽で少量でもバランスよく栄養をとれる食事の提案を期待します。

・男性は女性よりも口コミでの広まりが少ないので参加者の増加に難儀することと思います。料

理というよりもそれをきっかけに関心の高まり、つながりを目的に考えると意義深い活動だと思っています。

- ・おとこの料理教室はやる気のある高齢者に対してかなり期待が持てると思います。どんな料理をしてほしいか希望も聴き取ることが大事だと思います。
- ・料理に興味のない人は参加しないと思います。長い距離歩けない人は特に参加しないと思います。
- ・「ジェンダー平等」がさげばれている中で「おとこの料理教室」という名前を付ける時点で時代遅れの組織だと感じました。「ゼロからはじめる料理教室」とか男女にふれなくてもいいのではないですか？どうしても男性に来て欲しいなら注釈で「一人暮らし・高齢男性はぜひ」とでも伝えればいいと思います。女性は転倒予防体操や口腔ケアは不要なのですか？参加者の向上を目指しているのであれば、女性も生活向上させて下さい。
- ・独居高齢者が、関心を向けてくれるテーマ（活動）とは思えない。
- ・男性でも料理の上手な方はいるし、女性でも料理が苦手な方もいる。性別で参加を制限しなくてもよいと思う。　　・自分はあまり好きでない。
- ・長年、母の食事を作っているので、「教室」に参加しようとは思いません。料理には、パソコン・スマホを使っているので。
- ・当教室は高齢者のニーズとして本当に求められておりますか？対象となる世代が異なるのではないのでしょうか。高齢になって台所に立つのは、それまでやった事がない人にとっては辛い思いを抱くことになりませんか？
- ・料理経験の無い者に関しては、良い事と思うが、料理経験者、家事全般をこなす者としては、何一つ興味が湧かない。　　・男性が取り組む食生活は、非常に興味があります。
- ・積極的に誘う広告がほしい。若向き、お年寄り向きにメニューなども広告に載せてほしい。
- ・とてもいい事業だと思いますが、広報とかの紙面だけでなく、もっと直接的に参加を呼びかけたらどうでしょうか。　　・料理教室参加してみたい気持ちはある。
- ・男が厨房に入る時代だが、活動は知らない。もっとPRすべき。
- ・とても良い企画と思います。しかし、男性はこういう企画に進んで参加する人が少ないように思います。女性と違い人前に出たがらないのではと思います。
- ・行ってみたいけど行く勇気がない方が、多いのでは。日本の男性（昔）の方の考え方を何かをすることが、ステップアップにつながるのでは。家事をやった事ない方が多すぎて。
- ・料理教室までの移手段がない。
- ・できればモデル町内会を定めて上記のことを実施できる事を期待したい（交通機関がない）
- ・知人の旦那様が料理教室にてバター餅を教わったと言ってごちそうになりました。自分もレシピを聞いて実行したらとても良くできました。良かったです。
- ・なかなか難しい。男の意識の改革が必要。あと本人が興味ないとどうにもならない。
- ・現在の社会情勢を受け入れない田舎の風土（昔の人達）が息子達を教育しない、若い人達には少しずつ夫婦協力体制ができつつある。男の人達が（地域の）声を掛けあい親交を深める事から始めないといけない。
- ・自分が一人暮らしの生活になってからでは、遅いと思います。前段階で、何に取り組めばよいのでしょうか？

### III-2.安心して住み続けられるまちを目指した事業



安心して住み続けられるまちを目指した事業では、全体的に見ると期待度の基準値に達しているが満足度の基準値に達していない重点改善事業が、生活福祉資金貸付事業とたすけあい資金貸付事業であった。それ以外の事業については、すべて期待度と満足度の基準値に達しており現状維持強化事業であった。また、全く知らない群では、すべての事業に対して期待度と満足度が全般的に低い状況であった。

なお、たすけあい資金貸付事業や生活福祉資金貸付事業への評価が低いことから、弱者への理解が得られていない現状が見受けられる。

◆自由記載（※自由記載で全く同じ文言やほとんど内容が同じ意見、要望などについては、割愛させていただきます。）

#### 【5. 地域福祉協力員】

- ・ 独り暮らしの高齢者宅に年2回訪問してくれると聞いた事がありますが、1回も会った事がないという人もいました。どちらが正解でしょうか。民生児童委員の方がそうですか？
- ・ 地域に〇〇協力員、民生委員、〇〇委員が何人もいるが役割分担がはっきりしない。
- ・ 私の両親は高齢者で病気で入退院を繰り返していました。その当時、私は毎日様子を見に来ていたけど、誰一人声をかけてくる人はいませんでした。両親に聞いても訪問者はいなかった。
- ・ 地域福祉協力員を設置することは、とても良いことだと思います。協力員・民生委員の方は、



どれだけ社会福祉の知識を持って活動しているのでしょうか？この方たちの働き方によっても大きく変わってくる部分もあると思っています。（インフォーマルサポート、つなぎ役などもあると思うので。）

・地域福祉の核となる制度だと感じるが、「協力員」という名称からすると、実のところ役場の福祉業務の下請けということなのか？先の「生活支援コーディネーター」とは、どのような関係になるのか。福祉体制の全体像が、はっきりしないようだ。

・地域福祉協力員が支援を必要とする方や家族を把握はむずかしいのではないかな。

・支援を必要としている人を、どのように把握しているのでしょうか。

・協力員の選び方はどうなっているのか。守秘義務は守られているのか、どこで判断していますか。 ・福祉関係の組織が、複雑。

・役割を与えられて町内のことに目をむけやすくなるのはいいが、まわり順で義務的に1～2年やりすごそうとしている人も見られる気がする。

・とても必要と思うが、相談する人の抱えている問題次第では近くの人にはちょっとと出る場合もある。 ・個人情報の管理は、きちんとしていますか。同じ町内の委員には、相談しづらいです。

・誰が地域福祉協力員かわからない。また、活動内容が見えていない。

・1回もまわってきた事がない係の方もいた。よく回ってくれる方もいる。

・1人暮らし世帯です。緊急の時に世話になると思います。緊急連絡先の電話番号など聞かれたことがないので、どうしたらよいものか迷っています。

・担当以外一般町民には何をやっているかわからない。個人情報との関係もあるのでむずかしい。

・今後、協力員のなり手が不足してくるのでないか。

・協力員との人間関係が悪い人は、どうなのか？

・年度始め、民生委員、福祉協力員も役員名と一緒に載せていただくと嬉しいです。どなたなのかわかりませんが、総会にもあまり出ないので。

・期待はしているのですが、目に見えた活動というか、わからないので、～員、～会と連携して、問題解決につなげて行ってほしいです。 ・過重な負担にならないように配慮してください。

・町内会で協力員がいるということはわかりますが、では実際どのような活動をしているのか、今年はどうなことがあったかなど聞いたことがないですし、もっと町内会でそのような場でお話をさせていただくなどしたら、町民がもっと協議会の活動を知り、理解することになるのではと思います。 ・お互いの信頼度を上げて個人情報を共有できるかを考えてほしい！

・民生委員（個人情報もありむずかしいのかな）<>協力員での情報交換が良

・協力員の努力に感謝しています。地域の福祉を高めるため、関係者同士で福祉の実を上げる話し合いが必要。 ・協力員の数（各町内会）を増やす

・問題は様々あると思うので、早期解決できるものと長いフォローが必要なものが出てくると思い、フォロー体制が大事。

・協力員へ活動は、協力含め協力をおしまない（できるかぎり）ただもっとがんばって欲しい。

・町内会の役員になってから知りました。協力員のなり手がなかなか見つからず苦労しています。会議等もできるだけ、土日にしていただきたい。現役の人は、仕事があるので、なかなかやってもらえないので、もう少し柔軟に対応していただきたい。

・頑張っていると思うが、活動そのものに不満でやり方が違うと思うが

- ・まだまだ協力員の自発的（地域を思う活動）が手薄？社協からの依頼の時だけ仕方なく動いているように感じます。
- ・認識程度。町内会自体も知っているか疑問。期待度はあるが、そもそも協力員の必要性は感じない。
  - ・支援が必要な人に対して、訪問していません。
- ・福祉協力員の役割を理解して活動している方は、一握りの方しかいないと思います。当地区の福祉協力員は全く何もしていないし、何をしているのか分からない。
- ・福祉協力員が必要なのか再考しては如何か。福祉の押し売りのな感じがあると思う。
- ・あまり土足ではいりこまないようにしてほしい。（それなりに専門的な知識を持っていらっしゃる方でしょうから）
- ・町内に目を向け、支援が必要となる方をとりこぼすことなく支えていると思うのでよい方策だと思う。
  - ・色々な事例があり、とても難儀しておられる事と思います。ご苦労様です。
- ・老人二人暮らしの家庭には、非常に心強いです。よろしくお願い致します。
- ・民生委員の人達の訪問は、安心感が出ます。これからもよろしくお願いします。
- ・これからの時代、こうした取り組みは、とても大切になってくると思います。”助けてほしい!!”と声を上げやすい雰囲気をごどのように作っていったらいいのか？を一人ひとりが真剣に考えていかなければいけないのではないかと感じています。
- ・いつも、福祉員の民生の方から親切な気配りと言葉に感謝です。これからも益々お世話になります。
  - ・身近に相談する人がいる事は良い事だと思います。
- ・福祉協力員が民生児童委員等とタイアップして福祉の支援にあたることは心強く思います。
  - ・なにげない会話でも、今まで通りの声掛けをお願いします。
- ・協力員の支援が、必要とする年齢になりました。よろしくお願いします。
- ・良くやってくれていると思います。感謝しております。
- ・地域福祉協力員は良く訪問して下さっています。相談窓口であることは知りませんでした。
  - ・母から聞いてお世話になった。良いシステムだと思います。
- ・地域での支え合いにとって必要不可欠な方々（役割）なので、活動していく上での各自の課題や難儀していることの声を取り上げていけるようにしたい。
- ・高齢の父が急病になり、協力員でなくとも近所の力をかりて助かりました。
- ・地域福祉協力員の方達は、懸命に頑張ってくれている。説明も上手で、口言葉（ていねい）暖かい人たちです。
  - ・これからも継続し、生活の困っている人を助けて欲しい。
- ・協力委員も民生児童委員も頑張っているけど、大変難しい。人が人を理解し、どこまで理解をすれば良いのか、求めるのが大変だと思う。頑張ってもらいたい。
- ・年を増す毎に、必要になって来ると感じます。
  - ・重要な仕事だと感じています
- ・『地域福祉協力員』という名称すらわかりませんでした。今後、認識して行きたいと思います。
- ・地域住民の状況把握する上でも、協力員の役割は必要だと思います。
- ・ケースバイケースだと思うが、場合によっては期待したい。
- ・福祉協力員はある事は知っていたが役割は知らなかった。共同募金のお金を集める？事の
- ・その立場に成らなければ、ありがたさが湧かない。
- ・せまい地域であるので、個人情報等を外部にもらさないなど守秘義務が守られているのか不安な面がある。
  - ・自分の区の協力員をはじめて知った。
  - ・存在を知らない。

## 【6. ふれあい安心電話】

- ・これから先、生活していく中で必ずお世話になるとおもいますので助かります。
- ・一人暮らしの方が多いのでとても助かっていると思います。また歩行にも困難な方が多いので
- ・高齢者にとっては安心できると思う。 ・高齢化社会の今、大変必要なことだと思います。
- ・利用している方が大変喜んでいきますので、良い事と思う。
- ・一人暮らしの病気持ちの女性。夜に悪くなり、ボタン一つで助かっている。良い事だと思う。 ・他の町に住んでいる母がこの電話をつけてます。少し安心感有り。
- ・定期的な「声かけ」で、寂しさが解消されて元気になる一人暮らし等の世帯がたくさんあると思う。社協の職員の方には、本当に感謝しています。
- ・一人暮らしの高齢の方の家庭への見守り・訪問などを行っているのは知っていましたが、『ふれあい安心電話』については全く知りませんでしたので、とても良い事業だと思います。
- ・見守りが必要な方にとっては安心できる対策の1つとなると思います。この電話はどこに通じて、24h 対応なのか気になった。
- ・見守られている安心感は絶対ありますね。実際に確認していて良かった点、悪かった点などありますか？… ・有益な事業だとは感じられるが、不可欠なものとは思えない。
- ・知り合いの人が設置していると来た事が有りますが、どうやってつけたらいいかわからない。 ・八郎潟町でもあるとは知らなかったなので、とても期待したいです。
- ・知らなかったなので、どんどん活用してほしい。
- ・今の所使用していないのでその時になったら是非使いたい。
- ・事業としては、対象者からは頼りになる内容なんだろうなと思います。
- ・これから自分もお世話になるかもしれません。
- ・高齢化が進み、色々な面で第三者の対応があれば、嬉しく思います。
- ・スマホ等様々な機器が発達してきている昨今、必要かどうかと考えることもありますが、『一人も残さない』ために継続していくべきかと思います。
- ・このような取り組みは今後ますます重要になってくると思います。
- ・町内の一人暮らしを見守る方法とともに、孤独死を避ける方策がないものか。
- ・特殊詐欺の電話がかかってきた時にも使えたら良いと思う。
- ・牛乳配達、郵便配達、新聞配達、近所の人々対応してもらえたらいいなと思います。
- ・初めて聞きました。もう少し町民に周知を。
- ・高齢の一人暮らしに希望すれば設置できるでしょうか。
- ・実際に見たり、触れたりした事のない方が多いと思われる為、周知する方法はないでしょうか。(私が知らないだけかもしれませんが…)
- ・安心電話は本人が申し込むのですか。私は高齢者、子供は障害者の二人だけですがその事はまったく知りませんでした。そういう世帯に連絡していますか。
- ・町内でも一人暮らしの方もいるので、現状どうなっているのかよくわからないので、現状の周知をしてほしい。
- ・全く知らなかったです。民間の会社のイメージがありました。今現在、町では何世帯くらい利用しているのか聞いてみたいと思いました。
- ・他の市町村での設置は聞いておりますが、八郎潟町は知りませんでした。

- ・必要かどうか全町の方が知っているのでしょうか。(安心電話のあること) 不安な人は助かると思います。
  - ・高齢者や障害のある方には、必要だと思う。
- ・高齢者の安全を守るため、見守りや声かけなどと共に行ってほしい。
- ・安心電話の設置の継続を(セルフネットワークのさらなる推進)
- ・当事業は本当に必要な事業です。何故なら、他の事業より上位にある(生死に関すること)と思われるからです。可能であれば町民全世帯に通報できる電話機(等)を設定すべきではないでしょうか?
- ・夫婦世帯の時はボタンを押すことができますが、一人の時はボタンを押すことができるというんだけど。
- ・過去に4, 5回全部夜中に電話があり、1人で出向くのが怖かった。また、孫2歳を置いていくので、どちらも心配であった。見守りはよいが、他に迷惑をかけるのもよくない。
- ・町であまり機能していないように感じる。
- ・何名の方が利用されていますか。本人やご家族の感想どうですか。
- ・電話機設置の件数等がわかりません。現在は携帯、スマホ等によりその機能がより進んでいると考えます。
- ・母が、ふれあい安心電話の協力員だったので、よく知っています。利用者の皆さんを思うと絶対必要な事業だと思いますが、我が家には、いつも深夜の11時～AM3時ころが多く、大変なことだと思っています。
- ・固定電話を持たない家庭が、増えてくると思われます。高齢となった場合、年金生活も大変になってくるのでは? 益々地域の高齢者、一人暮らしの方は、安心して生活できるか。
- ・コロナ時は声かけがありましたが、最近はないようですね。
- ・認知が入っている一人暮らし高齢者の場合、必要時に操作できなかった
- ・高齢者の方言がコールセンターの方に通じなかった事例を開き困ったね
- ・お金かかるからやめたと言うこと聞いたことがあります。

## 【7. 心配ごと相談】

- ・あるのはわかっていますが、相談しにくい。話の内容がもれる気がしてます。
- ・利用者のプライバシーを守る仕組み作りが肝要と思われる。
- ・プライバシーに関することから故、相談はしづらいし、したことはありません。
- ・ちょっと近所の病院にかかったら、たちまちどこの誰々があそこの病院にかかっていたとウワサになるような小さな町で無料相談会に参加しようものなら、根も葉もないことをいいふらされそうで、とても参加する気になりません。レディース検診が町の検診以外に病院で受診できるクーポンを配布しているように、無料相談会もクーポンを配布して欲しいです。
- ・相談会に参加することにより、人に何か知られる(?) 勘ぐられるような気がします。人の目が気になります。
  - ・町民に個別に声掛けがあればと思う。
- ・いざという時に相談できるので大変良いと思いますが、実情に合わせた回数にしても良いのではと思います。
- ・利用したいと思うこともあるが、いつも時間が昼なので難しい。8回のうち、平日だけでなく土日とか夜とか日時が変わったものもありがたい。

- ・法律を知らない事は不安、心配、トラブルになると思います。具体的な事例を出して専門家に解決しましょうと誘ったら安心する方が増えると思います。
- ・専門家による無料相談会は有難い。年間の利用状況と取り扱った主なケース等についての情報提供があると良い。
- ・町の広報にのっていたのですが、気付きませんでした。8回という回数を年12回に増やした方が利用者は有難いかも。
- ・年8回で充分なのかどうか分かりません。需要があるのならば、月1回程度に増やしても良いのではと思います。
- ・今のところは大丈夫ですが、先々お世話になることもあると思いますが、心強く思っています。よろしくをお願いします。
- ・良いと思います。私もちょっと心配事があるので先生方に相談をそのうちしたいと思っています。
- ・1人暮らしの方には特に大事な相談事だと思います。(前もって身内や家族がいらっしゃる場合は、それを話し合っておくことも必要だと思われます。)
- ・当事者の立場に成らなければ、と感じるが、その立場の人にとっては大変、ありがたい取組と思う。
  - ・機会があれば利用したい。
  - ・今後利用が高まると思う。
- ・弁護士はお金もかかるので、無料相談は助かります。気軽に相談できるのは、とても良いと思います。
  - ・法律の事はわからない人が大勢いると思います。
- ・無料で相談できることは、ありがたいことです。
  - ・相談して、参考になった。
- ・町内の人にも、この事を知らせたいと思っています。
- ・法のあり方はむずかしいので、専門家の意見は大切
- ・八郎潟町で弁護士の話を聞けるのはいいと思います。
- ・実生活において何か悩みや困りごとがあっても、法律などが絡むとどこに相談すればよいか、また、専門的な機関では敷居が高いと感じることもあるので、身近な窓口は大変貴重だと思います。
  - ・高齢化が進み相続問題などが増えてくると思うので、これからも続けてほしい。
- ・弁護士会による法律無料相談会は、回数を維持し継続してください。
- ・無料相談でも（1人何時間位なるのか？）1回だけの相談で解決するものですか。
- ・弁護士、司法書士による相談の窓口があることは良い事だと思います。利用実績はどのくらいでしょうか。
  - ・チラシ等でもっと周知して下さい。
- ・現状どの位利用しているのかよく見えない。
- ・弁護士が無料相談会をやっているのは、知りませんでした。一般の方が、相談受けていると思っていました。
  - ・年8回も開催されていることは、知りませんでした。
- ・なかなか些細な悩みは相談にはいけないですね。皆さん利用しているもののでしょうか？…
- ・相談会があるということは良いのですが、出歩くということが少々面倒くさいです。
- ・相談したいことがあっても、出来ないこともある。
- ・相続のことで相談に行ったことがありますが、結局のところ「司法書士に相談に行ってください」と言われました。
  - ・話をよく聞いてくれなかった。

## 【8. まごころ弁当】

- ・週2回では少ないと思います。出来るだけ多くして欲しいです。
- ・1食あたりの金額をもう少し下げることが出来たらいいのではと思います。
- ・買い物、調理が困難な高齢者にとって、とても必要不可欠な事業。回数を増やすことも検討してほしい。 ・定員があると聞いた。毎日配達するべき。
- ・まごころ弁当はとても良いと思います。これからも続けてほしいと思います。(年とともに食事の用意は大変になってくるので・・) 一人暮らし方の様子も知る事ができるので。
- ・週2回お願いします。
- ・週2回はでなく、毎日した方がよい。ハチラボもなくなってしまったところ、そのニーズは高まっているように感じる。
- ・サービスを利用している方の立場としては、もう少し回数を増やすべきではないか？
- ・週2回だと不便ではと思います。お弁当を利用されている方に、要望を聞いた方がいいのではないのでしょうか
- ・一人暮らしでなくても、家族がいても配食サービスを受けられるようにしてほしい。日中の昼食の事も準備したりと火を使うことが多かったり、日中1人だとこれでいいやとパンだけとか、残り物と。食がおろそかになりがちが多くなる心配なため、家族がいても全町民70歳以上の方が、サービスを受けられるようにしてほしい。 ・配達員を増やして、より充実。
- ・年齢をもう少し下げて65歳以上にし、食事の頻度を週5回などに上げたほうが、助かる人が増えると思う。 ・週2回を週4～5回、夕食だけでなく昼食も
- ・ぜひ継続して欲しい。車を運転できなくなれば、ぜひ利用したい。
- ・評判の良い事業と思います。火、木と週2回ですが、その他の日も民間？か取り寄せしている人が結構いて驚きでした。社協の弁当が増やせたらいいのですが。
- ・弁当配達の際に、困りごとや何か問題はないか、また、弁護士等の無料相談会のチラシを置いて下さると助かると思います。
- ・社会福祉協議会で行われているのは知らなかったです。もし、出来れば、仕事をしながら、介護している人の分も一緒にお弁当を配達してもらえれば助かります。子育てをしながら仕事をしている保護者の方々と同じ位、仕事と介護の両立は大変です。
- ・一食400円は高いと思います。 ・国民年金生活では一食400円でも高すぎる。
- ・一ヶ月単位の契約で一食あたりも少し割引になるコースもあつたりしたらうれしく思う。
- ・利便性を高めたサービス事業の充実に努めてほしい。社協で提供されるお弁当は評判が良い
- ・毎日じゃないと意味がないような気がします。1日2食、昼・夕。
- ・人は一日一食なのですか？週2回と夕食のみでは少ないと感じます。
- ・継続的に予算が続くとは思えない
- ・買物弱者や男性の一人暮らしの方は、助けられていると思います。できる事であれば、週3回、4回位あっても良いかなと思います。味付けやカロリー等考えてのお弁当ですので、コンビニのお弁当は飽きてしまうと思います。これからも頑張って続けていただきたいと思います。
- ・もっと多くの方が希望していると思います。体調が悪いとか、遅くなって嫌な時など～あるかと思っています。チラシ等でもっと広めてほしい。
- ・私が中学の時もあったので、継続して行っている事は素晴らしい事だと思います。高齢世帯に

とって、良いサービスだと思います。

- ・まごころ弁当は、とても喜んでしていると聞いたことがあります。続けてほしいと思います
- ・手ごろな値段で利用出来、大変ありがたいと思います。
- ・ボランティアで参加したことがあります。高齢者の声かけ、安否確認、とても良い事業だと思います。だれでも高齢者になるので、今後も受け継がれてほしいと思います。
- ・利用したことがないので弁当の中身はよく分かりませんが、ありがたいことだと思う。
- ・物価高の昨今、1食あたり400円でまごころ弁当を配達してくれているんですね。スタッフの皆さんには感謝の言葉しかありません。利用する時が来たらよろしくお願いします。要望は特にありません。
- ・利用させていただいております。内容の良いお弁当だと思います。週一回ではありますが、大変、助かっております。 ・ボランティアの皆様には感謝します。
- ・利用されている高齢者の方が「大変助かっている」と聞いたことがある。買い物に行けない方たちにとって、良い事業だと思う。
- ・昔若いころ少しお手伝いさせていただいた事が有ります。皆さん一生懸命頑張っていました。今お世話になる年齢になり、非常に有難く心強いです。有難うございます。
- ・女性部の頃参加して、弁当作り配達して大変でした。衛生面で神経使うので、大変でしょう。作ってくれている人達に、頭が下がります。
- ・八郎潟にはスーパーが無いので、このサービスはとても良いと思います。お弁当を届けることで高齢者の健康状態も把握できると思います。
- ・季節感のあり栄養バランス考えられ、見た目も美しく手作り満載の美味しい弁当です。
- ・きざみ食、骨無し、おかゆ、アレルギー等個人個人に対応してくれて、衛生面も充分配慮され素晴らしい栄養士さん達です。配食時に声をかけてもらい頂けて喜び安心し笑顔で受け取って居ます。職員の方々も素晴らしい！！ 現状では弁当の数量を増やせないのが残念です。
- ・まごころ弁当に関しては、大変評判が良いと聞いてます。いつか、自分達にもそんな時期が来ると確信しています。職員達の難儀に感心しています。
- ・高齢（90歳代）になると調理が大変なので、配食サービスは良い事業だと思います。又、配食日は喜んで待っているようです。
- ・注文した事があり、大変ありがたく思いました。でも少しおかずが足りない。
- ・手作りでバランスのとれたまごころ弁当は、とてもありがたいものだと思います。
- ・近所の方が利用しているのを見せてくれました。味も良いし見栄えも良く満足しました。
- ・私もまごころ弁当を利用したことがあります。高齢者の私達に宅配していただき、配達者にありがとう。また、声掛けもあり本当に嬉しくなりよい事でした。これからも続けて下さい。
- ・以前、私も病気の時弁当をいただきました。週2回になったことは、いいことだと思います。 ・週二回でも自宅に配達して頂けるのは、ありがたい事と思います。
- ・名前の通りまごころ弁当。安くておいしいお弁当を提供されて本当に助かっていると思います。
- ・毎日の食事の準備は大変負担なものになっていくと思うので、何食かでも補うことができれば気持ちが軽くなったり、他者とのつながりを感じたりすることのできる事業でとても大切なことです。
- ・『まごころ弁当』に関しては、ボランティアで弁当作りに参加したり配達を手伝ったこともある

のでとても良い事だと思っている。 ・利用者が増え、個別にお話しが出来たら良いですね。

- ・声を掛けていただいたり、季節の折り紙や手紙が入っていたりして喜んでいきます。
- ・70を超えたら、障害となったら利用する。 ・今度頼みたいと思います。
- ・毎日の食事に困っている人や買い物困難な方などの対象になっている方達には喜ばれる活動だろうと思います。 ・1食あたり400円で将来頼みたいと思います。
- ・今、利用していませんが、いずれ世話になると思うのでよろしく。(全部手作りでおいしいよ) 続けてほしいと思います。
- ・現在はまだ必要としていないが、今後は利用してみたいとも考えていますし、大変良い事業だと思います。買い物するにも車を使用。高齢となると大変になって来るでしょう。
- ・どのようなお弁当か見たことはありません。見てみたいです。
- ・どこで作って配送しているのか不明です。
- ・作った弁当見た事ありますが、どこで誰がどのように作ってるのですか。人材をどのようにして、選んでるのですか? ・週2回の理由は?と感じました。
- ・聞いたことはあるが、どこにお願いすればいいか、どんな手続きをしたらよいかわからない。
- ・現在何人の方が配食サービスを利用されていますか。
- ・お弁当の内容につきましては、時々アンケート等とっていらっしゃるのでしょうか。
- ・質問です。調理に携わっている人はどんな人たちですか。それに資格が必要なのですか?
- ・毎日、2食程度配達しないとまずいのではないか?配達されない日は、どうするのか?
- ・買い物、調理が困難であれば相応な対処が必要であると思いますので、このサービスの必要性を感じない。それよりは、バスと各家庭を結ぶ町内バス等の交通手段を作ったほうが良いように感じます。
- ・試しに2回(1週)利用しましたが、長続きしませんでした。利己的ではありますが、夜に弁当では淋しい思いをしました。
- ・何かで見て知ってます。ただ配食とはいかがか?食べたい店に自分で注文して配食だけ別の業者がやっていると理解しています。複数の業者がかかわる一つのサービスは費用が高くなる気がします。 ・週2回で充分なのか、当事者の考えはどうか
- ・毎日、365日の対応で無い限り、満足とは、言い難いのでは?利用者にとっては何?
- ・ほんとに必要な人にいっている?ようりょうのよい人にもみ行ってる感あり。必要な人に行くくふう必要。
- ・以前、家族が出かける用事があり、父一人になった時にお願いしたのですが、一人暮らしの人しか配達できないと言われ、困った時に助けて欲しかった。
- ・食の大切さが健康につながることは毎日の生活で最も必要なこと。もっと利用したい人がいるのではと思います。
- ・栄養のバランス必要です。(自分自身だけだとすきな物や手軽な物ですませしてしまうことが多いと思いますので。)
- ・受け取る方々は大変ありがたく思っていると思います。調理する人、配達する人、ほとんどが高齢になってきています。その点を今後の課題として考えていかなければいけないと思います。
- ・退院して2カ月になりますが、まだ料理する気になりません。息子がいるので買い物してもらっていますが、もし、息子が家を出ていったらと不安です。



- ・中学校の頃にボランティアに行きました。

### 【9. 生活福祉資金貸付事業】

- ・利用してた人がとても助かったと聞いています。
- ・障害のある世帯などは、助かると思います。
- ・住民生活を安定する上でも、良い事だと思われま。
- ・助かる人がいるとは思いますが、自転車操業的にならないようにしないと。見極めが大変だと思います。
- ・お金に関して、窓口として相談できる場や支援してくれるのは、困っている方々にとっては助かる事業だと思った。ただ、返す方法や見込み等についてもしっかりとサポートしていかないと、返せないまま不安な生活になってしまうのでは、と心配になる。
- ・低所得者でなくても、必要になった時は相談にのってもらいたい。
- ・低所得でギリギリ生活しているのに返済が困難なのは？
- ・貸付金ですか。返せるのであれば良いのですがと心配する話ですね。
- ・自分が働けなくなったら、お金を借りても返済できないと思う。
- ・低所得であり、生活困窮者が貸付を申し込みしても、支払い（返却）が出来るのか？
- ・貸付では返済が必要になるので、逆に生活を苦しめることにつながる可能性があり、しっかり話を聞いて慎重な対応が必要。
- ・貸付けですか？考えてみたら、低所得世帯は返済で苦しむのではないのでしょうか。安定した生活を送れるようにするには貸付ではなく「給付」が妥当と考えます。
- ・貸付金に限度がありますか？返済は滞っていませんか？相談の窓口として頑張ってください。
- ・『低所得』の線引きが、どこからなのかわからない。
- ・安定した生活の定義が明確でしょうか？（どの程度が安定であり、また不安定の程度がよくわかりません）。支援実績はどのくらいでしょうか？ ・必要な人に対策できてる？
- ・返済原資は何か。（生活保護給付金からか。）延滞時の対応について。
- ・低所得者・障害<>社協 直ぐに社協は？ つなぐパイプ役が必要！
- ・本当に困っている方が相談しやすい状況になっているか心配あり。
- ・申し込み窓口や貸付までの流れが不明。
- ・低所得世帯や障害者世帯に資金の貸し付けする事自体間違っている。
- ・一部に不適格と思われる者が借りていると思われる
- ・悪用しているのではと思うことがある。借りる側が素行の良くない人がいる。
- ・県の事業の窓口としての必要性は感じますが、それ以前に行政の方策が頼れるものになって欲しい。 ・必要とされる方への周知を。 ・具体的な内容を教えてほしい。
- ・希望者がいるのか、わかりません。希望する人には（家庭）いいと思います。条件など、制度内容について、広報などでPR したらいいと思います。

### 【10. たすけあい資金貸付事業】

- ・無利子の貸し付けはいいですね。 ・大変助かると思うので支援を続けてほしい。
- ・ただ支援するだけでなく、今後の自立生活の確立に向けて職員の方々が考えて向き合っている

ことが素晴らしいと思います。

- ・一時的とはいえ、貸付金額が5万円～10万円の支援では額が低いように思う。
- ・一時的な資金であれば貸付が有効と考えますが、金額的に少な過ぎませんか？今の世の中、50万や100万位は必要になりませんか？時代にマッチしていますか？
- ・本当に必要な人が安心して借りられるような体制をしていますか？
- ・本当に必要な資金か、慎重な対応が必要。
- ・どこのだれに申し込むのか？内容が良く分からない。たとえば、返済方法など利用者がいるのか？疑問？
  - ・申し込み窓口や貸付までの流れが不明。
- ・資金使途があいまいでないか。前述同様返済（原資）は必要なのか。
- ・個人の資産までよくわからないと貸付はできないのではなんでしょうか？利用実績はどのくらいでしょうか？
  - ・低所得者世帯の緊急時の貸し付けで返済がかなりの重荷になるのでは？
- ・低所得でぎりぎり生活しているのに返済が困難なのは？
- ・借りれるシステムがあるのは良い事ですが、返せるか心配してしまうシステムですね。
- ・無利子で大変ありがたいですが、全額回収できるものなののでしょうか。
- ・良い事業だと思いますが、貸倒れになった場合の処理はどうなっていますか。
- ・返済できなかつたら、どうするのでしょうか？
- ・出きれば、あまり貸付はすすめたくない。
  - ・返還は期間どの程度でしょうか。
- ・利用者は年間何人いますか。
  - ・この事業自体、生ぬるい。
- ・手間と時間が問題だと思います。
  - ・あまり知られていないのではと思います。
- ・全く知らなかった。緊急的とは…お金の返し方とは…。わからないことが多いので支援を受けにくい。
  - ・必要とされる方への周知を。
  - ・必要になったらお願い致します。

### **【11. 日常生活自立支援事業】**

- ・自立支援があることは知っていましたが、とてもいいことだと思います。
- ・利用者との信頼関係を構築しないとできない事業ですね。
- ・この支援事業は必要なことだと思います。
- ・高齢の一人暮らし、また高齢者夫婦に対しての援助は、これからますます必要になってくると思う。さまざまな援助があることを発信してほしい。
- ・認知症の人には支援サービス必要と思います。
  - ・非常に助かると思います。
- ・認知症などこれから増えてくるものと考えるととても大切な支援ですね。
- ・自立生活を送る上で、良い事業だと思います。
- ・認知症等で判断能力が不十分になったら、子供に相談とっていましたので…このような事も相談にのってくれるんだと、改めて考えさせられました。
- ・2人に1人が認知症になる可能性があるという話を聞いていますし、自分の将来ももしかしたら、と不安に思っています。この事業は大変期待しています。人手やお金がかかることだと思いますが、八郎潟町では持続可能でしょうか？将来の担い手も含めて、力を入れて検討していただければうれしいです。
- ・若い人たちと同居していない場合など、いいのではないかと期待しています。
- ・なるべく人様に迷惑をかけないようにとは思いますが、かならず年と共に日常生活もできなく

なる日が、かならず来ると思うので、その時はよろしくお願いします。

- ・そのような事があれば利用したい。このような事があれば、協力員制度ではなく民生委員をとおして依頼すると思う。それだけ認知度がない事から。
- ・個々の状態に応じた適切な支援が行われることを願っています。
- ・契約能力が欠如した場合は利用できず、認知症のある人や高齢者の場合、そのような状態になるのは近々のことで、成年後見に移行せざるを得ません。成年後見の中で（補助、補佐）移行していった方が良いのではないのでしょうか。
- ・支援するのであれば、障害の子ども支援でデイを週1でも行うとか、親の息抜きの場や時間と専門の方々の障害児への指導など、町にあれば。幼児（未就学児）を特に。秋田はおくれていると思います。・本来行政の事業の範囲に含まれるものではないだろうか。
- ・援助者の選定、支援活動はどこで、あるいは誰がすすめていますか？
- ・お金のことなので、もし自分も正しい判断ができなくなった時は相談できる窓口はほしいし、どのような人が関わってくれるのか？
- ・大事だと思いますが、自立した日常生活を送ることは、難しいように思います。
- ・日常生活自立支援の実績はどのくらいか知りたいです。
- ・金銭の管理に、他人を介入させる事には不安があります。
- ・金銭管理までとなると、よほど信頼できる人でないと任せられないですね。福祉サービスと抱き合わせで実施するのはリスクが大き過ぎますので、これは絶対にやってはいけないことです。人選がキーとなる事業だと思います。
- ・判断能力が不十分と書いてあるが、あまりにも不十分だと利用できない点が不満である。中途半端な内容でしかない。
- ・どの程度の支援をしているのかももっと知りたいです。後見人制度の橋渡しのような支援なのでしょうか。・とても良い事だが、全然知らなかった。・町民への周知

## 【12. 屋内ゲートボール場管理運営事業】

- ・運動不足解消の為、利用できる場所があって良いと思います。
- ・小中学生が練習している様子も見られ良い活用方法です。
- ・年間を通して活用できるように行っているとのこと。半分に人工芝を設置しているのは大変いいことだと思います。・利用した事がないのですが、大変良い事と思う。
- ・年を取ると体を定期的に動かすことはとても大切なことだと感じています。天候関係なく行えるゲートボール場は必要と思います。管理運営事業をしているとはわかりませんでした。
- ・有効活用は素晴らしいと思う。
- ・周辺整備と併せて、良く管理されていると思う。冬場の町外（小中学校）の利用希望者もある、対応をする必要がありそう。
- ・町内会で利用した事があります。スポーツをして楽しむことができる場所があっていいと思います。
- ・これからも継続し、高齢者のフレイル予防の場を提供して、元気高齢者が減らないよう期待する。・冬期間に屋内でスポーツができる施設は、貴重なので大事にしてほしい。
- ・母が GG でお世話になっていて良い事と思っています。今年から灯油代あがって、冬は休みと

言っていました。できればやらせてあげたかったです。

- ・ スポ少野球で活用させていただいています。人工芝は大変ありがたく思っております。
- ・ 母親が利用していましたので、良くして頂いて本人も楽しく通所してた様に思います。
- ・ 孫も冬場ゲートボールを使用しているようだが、もう半分も人工芝だと良いねと言っている。
- ・ ゲートボール場、子供の部活で利用しています。雨天、雪の時、大変助かっています。室内運動場の必要性を感じています。全てを人工芝にしてほしいです。
- ・ 要望があるので人工芝にしたのではないのですか？設置して利用者が居ればいいですね
- ・ 人工芝を設置したことで活用の幅が広がった。窓ガラスを割らないために、防護ネットの設置を検討してほしい。
- ・ 予算の都合もあると思いますが、出来るならば人工芝を全面に施行をお願いします。
- ・ 部活（野球、ソフトボール）の使用が多い様だが、ネットを全面及び全人工芝にしたら良いのではないか。
- ・ 人工芝だと面白味が半減する。斜めだったり坂に芝がなし。全面的に人工芝を使用しているならそれでいいのではないか。 ・人工芝の利点が不明。
- ・ 町内の区によって参加する人が多くいる所であれば良いですが、参加する人がいないところはないと思います。
- ・ ルールに関係なく、コミュニケーション等で行きにくい人もいるのでは？
- ・ 一部の利用者に専有されてしまう為、気軽に入っていけない。もっと楽しく利用できる環境にすべき。 ・雨天時の行事などにもっと気軽に活用できればと思う。
- ・ いつも同じ人が参加していると聞いている。もしそうであれば、初めての人は参加しにくいと思う。
- ・ 運動する施設が羽立地区にあるので、中々活動できる環境にない。高齢となったとき利用できるか？
- ・ スポーツジムなら必要性を感じるが、ゲートボールは本当に一部の人が必要としていないと思う。
- ・ ゲートボールはやった事がない。もっと違うスポーツのジャンルを増やしては？ウエイトトレーニングなど出来る施設が欲しい。
- ・ 一般の人は利用できますか？何かの団体に所属していなければ利用できないですね？各団体が時々町の広報などで、利用を促すよう広報して下さると嬉しいです。これも、限定した人たちだけのメリットにならないような取り組みをお願いいたします。
- ・ ガラス窓を壁等にすれば、今よりも暖がとれるようになるのではないかと思います。冬期間はケガもしやすい為けんとうしてくれたらなあ・・・と思う。 砂の方のデコボコもキレイにしてほしいです。 ・多目的利用の環境整備は必要と思います
- ・ 水回り等が不衛生に感じました。 ・ほこりが立って、衛生上気になります。
- ・ 利用頻度は、どのくらいでしょうか？
- ・ 大瀧村（サンルーラルとグランドゴルフ）や三種町（ゆめろんとグランドゴルフ）みたいに、他町から人を集められる、お金を集められる施設なら人工芝を設置してもいいのですが、年寄りの娯楽に人工芝はいらんと思います。部活動に活用しているとのことですが、もう何十年もこの町からプロ野球選手を輩出していません。今どき優秀な子は町外を出て活躍しています。子供

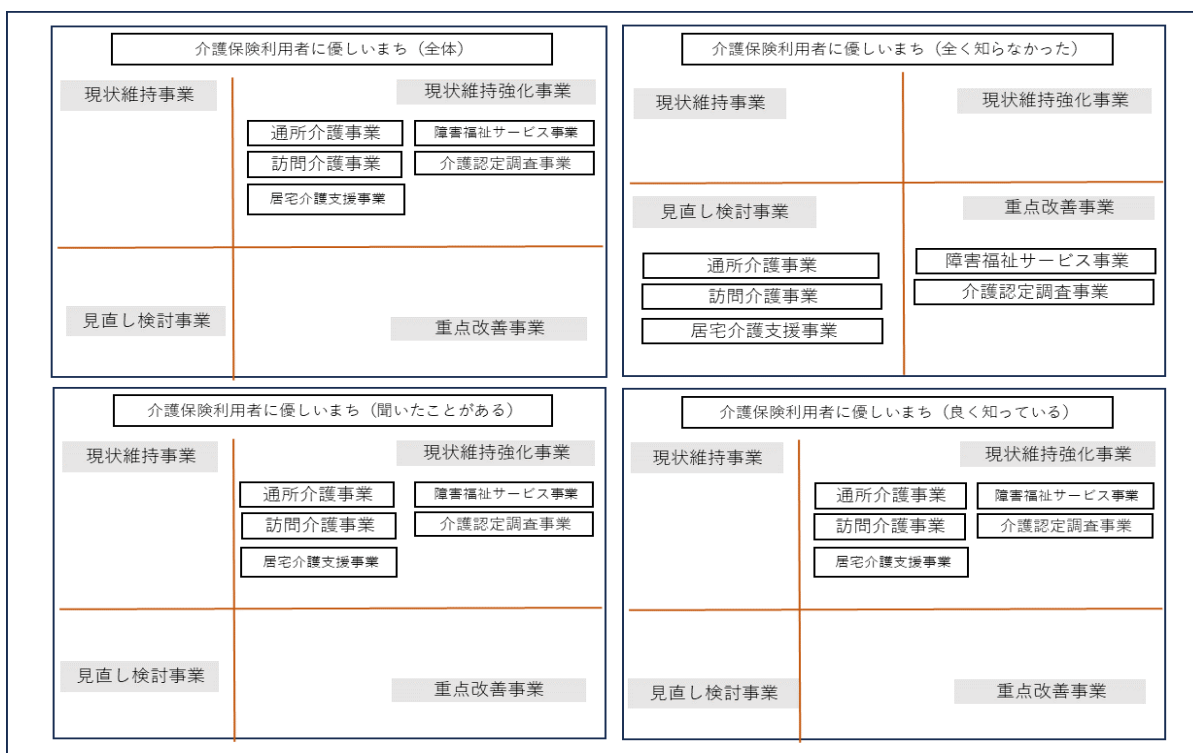
- をダシに使って町からの補助金を人工芝に使ったことを正当化しようとしてるよう感じます。
- ・お金のむだ。
  - ・活用度が高まれば良い。社協ではなく町の事業だと思います。
  - ・「屋内ゲートボール場」は町の事業だと思っていた。
  - ・ゲートボールのゲーム者数はどのくらいでしょうか？町からの補助金はどのくらいでしょうか？
  - ・ある程度の利用料をとってはどうか？（人工芝の維持管理上）
  - ・維持管理費は、全額町から助成してもらうようにすべきと思う。（町民の健康管理上）
  - ・社協で管理運営することのメリットが感じられない。
  - ・ゲートボール場の管理運営が、良く解らない。人工芝はなぜ必要ですか。
  - ・ゲートボールをやらない人には、関心のない問題だと思います。
  - ・全くやったことがないので、あまりわからない。
  - ・全く関心がありません。
  - ・何をやっているのが、分からなかった。
  - ・必要？

### 【13. 備品・軽トラック貸出事業】

- ・各団体が必要に応じて貸してもらうことができるのは良いと思う。
- ・以前町内会で軽トラをお借りしました。（ありがとうございます。）
- ・利用している方々は大変喜んでます。
- ・貸出はとても助かると思います。
- ・有効活用は素晴らしいと思う。知らない人も多いのでは？もったいないと思う。
- ・やりたい人は助けてもらえるので良いこと。
- ・貸出事業の継続は必要と考えます。
- ・それぞれの町内、団体の活動が活性化し、利用が増えることは好ましい事だと思う。
- ・町内事業でトラックが必要な時活用してみたい。
- ・積極的な活動に対して、その援助があればとても助かると思います。
- ・軽トラックの貸出の他、備品にはどのようなものがありますか？団体への貸出ばかりではなく、個人への貸出は考えられませんか？
- ・もし出来たら個人にも軽トラの貸し出しをしてもらいたいです（ゴミ出しの為）
- ・農家でなければ軽トラックを持っていない家もあるので、個人的に必要な場合でも貸していただくとありがたい。
- ・借りる人がいない時は、個人にも貸し出してほしい。
- ・個人の貸出はできないでしょうか。（有料でも良いので） そうだと大変ありがたいです。
- ・備品、軽トラックなどは個人で所有するのではなく都度借りるもので良いと思います。
- ・除雪関係の備品（除雪機・トラック等）については、個人にも貸出して欲しい。期日は1日でも良いと思う。
- ・貸出の利用者がどの程度か知りませんが、利用者の範囲をもう少し拡大しても良いのではないのでしょうか？
- ・区には、婦人会、老人クラブ等がありませんので町にも少し不満を感じています。町長はどう思いますか。
- ・できれば必要の時借りたいと思うが、借りたい人がどのくらいの割合で借りれると想定しているのでしょうか？
- ・貸出は推進すべきと考えます。貸出器具はどのようなものがあるか知りたいです
- ・活動内容が適当と認められた団体となれば、一部の人達だけ（同じ人）のみとなっていないか？
- ・認められないとダメは住民主体的活動といえるのか。

- ・事業自体認識していなかった。知っていれば利用していた。費用はかかるのか。
- ・子供会は自分の子供も活動していましたが知らずにいました。
- ・どんな備品があるのか。広報で発信しているのか。 広報をじっくり見る時間もとれず、分かりませんでした。 ・町内会や広報等で知らせてほしい(掲載されているかも知れないが・・・)
- ・ここに来て1年以上になるが、全く知らなかった。
- ・あまり知られていないのでは、ないでしょうか? ・各位団体への周知徹底。
- ・町内会に参加してないので興味なし。 ・お金のむだ。

### III-3.介護保険利用者に優しいまちをめざした事業



介護保険利用者に優しいまちをめざした事業では、「全体」「聞いたことがある」「良く知っている」の群が、すべての事業に対して期待度と満足度が基準値に達しており、現状維持強化事業であった。

また、全体的に評価点数も高いことから、介護事業への関心が高いことがうかがえる。

しかしながら、全く知らなかった群では、通所介護事業及び訪問介護事業、居宅介護支援事業が期待度と満足度の基準値に達しておらず、見直し検討事業であった。これについては、サービス内容の認知不足も要因の一つと考えられる。

◆自由記載（※自由記載で全く同じ文言やほとんど内容が同じ意見、要望などについては、割愛させていただきます。）

#### 【14. 通所介護事業】

- ・母親が数年利用させていただきました。食事や入浴、ゲームや歌を歌ったり、楽しく過ごせたと話していました。おかげさまで長生きできたと、感謝しております。
- ・私の父母も利用していました。その節は、大変お世話になりました。
- ・私達夫婦も、他施設のデイサービスを利用していますが、通所することで一週間のリズムができて、とても良いと思っています。職員の方々との会話も楽しんでます。
- ・家でじっとしているより、他の人達と話をしたり、食事、入浴、機能訓練等何不自由なく提供してもらえるのは、本人にとっても家族にとってもありがたいサービスだと思います。でもなかには頑なにそういう場所には行きたくないという人がいるようで、家族が困っている話も聞きます。
- ・利用しております。細かなところまで気を使って下さってありがたいと思っております。
- ・利用しています。職員の対応・態度・声掛け・・・とても良いと思います。いつもありがとうございます。日曜・祝日の利用も出来るようになればいいなあと思っています。
- ・祖母がお世話になり助かりました。ありがとうございました。
- ・週2回利用している。親切にしてもらっている。
- ・利用していた母が、生きがいのように利用しておりました。
- ・デイサービスを利用されている高齢の方が、「行くのが楽しみだ」と言っていた。仲間も増えて、会話をするのが楽しいと生きがいを感じているようだった。
- ・母親がデイサービスセンターを利用していました。ありがたかったです。
- ・数年前に義母が利用しておりました。このようなサービスがあって、すごく助かりました。本当にありがたかったです。
- ・朝食と持ち帰り弁当があるとは思わなかったです。とても助かると思います。
- ・デイサービスを利用している方からお話聞いたことがあります。皆な親切で思いやりのある人たちですよ。食事美味しく頂いて、一日楽しく過ごしてます。と言っていました。素晴らしいことだと思います。・週3回利用させていただき、高齢な母のメリハリになっています。
- ・母が利用したこともあり、大変お世話になっている。本人も気分転換できてと言っていた。
- ・一日ゆっくり過ごし、帰りの弁当も大変助かりますね。帰りのお弁当があるのが知りませんでした。・移動が難しい方には大変ありがたいサービスです。
- ・父がお世話になってとてもありがたかったです。良いシステムだと思います。
- ・この先、お世話になるときが来るとおもいますので、その時はよろしく願います。
- ・今後、必要になれば、有効に活用していきたいサービスである。
- ・これからは、なくてはならない事業だと思います。おおいに期待しています。
- ・需要に応じて拡大すべき事業と思う。
- ・利用者がよろこび、家族が大変助かっているとの話を聞く。
- ・利用者が自宅にはいないので、よく分かりませんが自分も、いずれ利用する事になるかも知れません。職員の方は大変だろうと思いますが、居心地の良い空間を作って欲しいです。

・高齢者が増えるにつれ、送迎のあるデイサービスは本当にありがたいと思います。時に『利用者のニーズにもこたえる』そのような機会を取り入れることでより満足度が上がることもあるのでは。

・必要なサービスです。どのような環境サービスなのか知りたいです。利用する方々が居心地良い場所、そして働いている人がやさしい人であってほしいと思います。

・孤立させない為にも生活の質を向上させ、元気に生き生きと生活を送れるよう、サポートする上で必要と思います。

・一人暮らしや高齢の方にはとても助かると思います。時々アンケート等としてはいかがでしょう。 ・どんな方が対象でしょうか？利用料は？

・希望する人は、すべて受け入れてあげてほしい。介護度で受け入れできないのは、おかしいと思う。

・介護認定をうけている方々だけのサービスだと思っていたのですが・・・。高齢で希望者は利用できるのですか。 ・介護認定されていなくても利用できるのですか

・デイサービスの職員一人一人の利用者宅に送迎するにあたって、応答がない、または利用する側の気分でキャンセルとなっても、次回利用日に「あそこの家は訪問しても、どうせ行かないって言うから…」という見方をしないで長い目で声かけし、常に寄り添った対応をしてほしい。

・なかなか女性の中に入っていけないので、曜日を変えてみたらどうでしょうか。

・社協を、出来ることなら拡大して「デイサービス」と「まごころ弁当」事業を合同にしたら、能率的ではないか・・・？

・現在、お持ち帰り弁当は介護事業参加者のみですが、家族の分も可能になれば、有難いです。

・必要としている人が多いのでは？希望する人全員に対応できるのですか？

・行きたい。要支援とかの認定を受けていないけど、行きたい。(人と交流したいため)

・朝食、夕食を提供するのは本当に良いと思います(お弁当は手作りでおいしそうです。)

・利用者数を増やす努力を続けて欲しい。(口コミ、利用者同士のつながりなど)

・食や持ち帰り弁当があるのは知らなかった。「はちらぼ」無くなったので、持ち帰り弁当や配達弁当があれば、大変助かると思う。 ・お持ち帰り弁当は、一年中でしょうか

・希望する方に朝食がお願い出来る事は知りませんでした。

・自分も(妻も)70代頃には、必要と思います。

・参加したことはありませんが、期待しています。

・大変な仕事ですが、皆さん頑張ってください。 ・長生きのため人との交流は必要である。

・社協だよりを見て皆さん明るく楽しそうな様子ですね。

・知人の母が利用しており、スタッフからの失礼な一言を聞きました。あれは本当に失礼な発言だと思ったので、自分の親をあずけるのが不安です。とざされた空間ですが、八郎潟は狭いので、すぐうわさは広がります。 ・収益悪いなら、やめればよい。

### 【15. 訪問介護事業】

・訪問介護のホームヘルパー皆さんほんとうにご苦労様です。

・親族でヘルパーさんのサービスを利用させていただき、大変助けていただきました。感謝しております。 ・祖母がお世話になり助かりました。ありがとうございました。



- ・家族の療養中ホームヘルパーさん、訪問介護員さんの支援を受け介護の励みになり心強かった。
- ・ホームヘルパーさん訪問介護を利用させてもらい助かっています。
- ・いろんな利用者さんがいると思いますが、ヘルパーさんのサポートには頭が下がります。
- ・これは大変ありがたいことだと思います。 ・必要で大事な事業と思う。
- ・数年前に寝たきりになった義母を家で介護している時、利用させてもらいました。親切で丁寧で思いやりがあって、本当にありがたかったです。
- ・安心してまかせる事ができる。 ・はきはきして印象が良いです。
- ・母との会話をメモして教えて下さるので、感謝しています。
- ・母が現在も利用している。なくてはならない事業だと思います。
- ・父が重病の時、相談をお願いしてとても助かりました。ありがとうございました。
- ・通院介助としても付き添っていただける日常生活の援助など、同居している家族も安心して過ごせる。 ・家で父母が利用しました。とても良いシステムです。
- ・友人がヘルパーをしたので大変さが良くわかります。頑張ってください。
- ・大変良くやられているという声を聞きます。訪問介護を必要としている人はまだいると思うが、事業に気づいていない（知らない）人もいるのではないか。ケアマネジャーとの連携が大事と思われる。 ・要介護者の身になって対応してほしい。
- ・居宅支援事業等々のためにも、高齢者を対象に幅広い支援を加重すべき。
- ・受診の送迎をお願いできたら、助かると思う。 ・訪問時間をもっと長くしてほしい
- ・訪問に至るまでの手順がわからない。
- ・どのくらいの介護状態でサポートを受けられるか知りたい。
- ・必要としている人が多いのでは？希望する人全員に対応できるのですか？
- ・町では現在これを利用していらっしゃる方は何人くらいでしょうか。
- ・ヘルパーの質、(対応、人間性)はどうなのか。介護施設でも人によりかなり違うことを実感しているので気になる点である。
- ・支援が必要な人でも、家に他人を入れたくないという方がいるという話を聞くことがあります。 ・家の中に入られるのがいやです。
- ・ホームヘルパーが来るから掃除をする人もいるとか。信頼関係ができれば何でも任せられるようになると思うのですが。
- ・ホームヘルパーの方は地元の方かわかりませんが、利用しているか、していた人が情報が漏れるからと話していた事がありました。コンプライアンスをしっかりとの方がいいと思いました。 ・ホームヘルパーさんの給料を、上げたらどうか？大変と思う。
- ・大変な仕事だと思う。 ・ぜひ頑張って欲しい
- ・ヘルパーと介護サービスに違いは、どんな所ですか、よく分かりません。
- ・社協が行っているとは知らなかった。 ・全く知らなかった。

#### **【16. 障害福祉サービス事業】**

- ・とても良い事だと思います。ぜひ続けてほしいと思います。高齢者が多くなっているのです。
- ・当事者の支援、心強いです。
- ・とても助かるサービス。この様なサービスずーっとつづいて欲しい。

- ・ホームヘルパーさん、訪問リハビリ大変ありがたく生活させてもらっています。
- ・ないと困ると思う。孤立しない意味でもとても大切なシステムだと思います。
- ・何より家族の負担軽減の為に、大変助かると思います。
- ・いつお願いすることとなるか不安ですが、このサービスがあるということが安心です。
- ・期待はしているが、実際のサービスを受けてこそその満足度なので説明だけでは分からない。
- ・利用したことがないのでわからないが、もし自分がその立場になればどれだけ有難いことだろうと期待する。
- ・ヘルパーの方には大変ご苦労なことです、その人の身になってというのが一番だと思います。
- ・秋田市は市社協で車イスを運搬できる車を貸し出していました。でも八郎潟町ではそういう制度がないため、個人で車イス運搬できる車を用意しなければいけない。又タクシーもない。
- ・秋田市でいた私は福祉の面でとても不便を感じている。
- ・障害者への対応は、どのくらいできるのでしょうか？様々な障害種があり、それに対応する知識や技能、支援が必要になってくると考えます。自閉症など意思疎通は、とても重要です。
- ・利用状況や行ったサービスの種類が分かるように、記入がみたいです。
- ・県指定の事業なので、内容（支援を受けるまでの流れなど）が良く理解されていないと思う。
- ・更に情報が欲しい。 ・病院で良く見かける。皆さんすごく頑張っているのがわかります。
- ・今以上に力を入れてほしい ・社協が行っているとは知らなかった。 ・期待なし。

### 【17. 居宅介護支援事業】

- ・数年前、父がショートステイに入るとき、お世話になりました。親身にお話を聞いてくれて、不安な気持ちを取り除いてくれたり、感謝しております。
- ・ケアマネージャーさんがいてケアプランや事業所、施設等を紹介してもらったり、連絡調整はもちろんのこと本人の状態を詳しく伝えてもらえるので、安心して任せられる支援事業です。
- ・現在利用しております。大変助かっております。いつも親身になって、携わっていただけてます。ありがたいです。
- ・ケアマネージャーさんには大変お世話になっています。わからない事があってもいつも丁寧に教えてもらっています。とてもありがたいです。
- ・いつも適切なアドバイスをして頂き、ありがとうございます。
- ・父が大変お世話になりました。忙しい中、本当に良く対応して下さり助かりました。ありがとうございました。
- ・ケアマネージャーさんには、色々相談している。対応してもらっているので助かる。
- ・とても重要な事だと思います。毎日、頑張って下さっている方々に本当に頭が下がります。ありがとうございます。
- ・一時期体調が優れず歩行困難になった時に相談に乗ってもらい、とても良くしていただきました。 ・いつも、お世話になっておりますケアマネージャーは本当によくやってくれます。
- ・何度もケアマネージャーさんには助けていただき、感謝しかありません。
- ・我が家でも父の時お世話になりました。その家で初めて介護が必要になる時はとても有効なものと思っています。
- ・重病の父が退院し、歩く事が出来ず相談をお願いしました。大変助かり喜んでいたのですが、

残念なことに一か月後に亡くなってしまいました。お世話になり、本当にありがとうございました。

- ・利用しています。月1回カレンダーを持ってきて、いろんな話をしてくれます。特に、介護をしている私みたいな人の相談にのってくれるので助かりますし、少しストレスが緩和出来ます。
  - ・父親への介護サービス、とても満足した。
- ・色々な支援（介護保険認定）を受ける上で、サポートしていただけるので大変助かります。
- ・母がお世話になっています。親族だけでは対応できない部分があります。今後ともよろしくお願ひします。
- ・母がお世話になりました。担当したケアマネージャーの方が、親切、丁寧、的確に対応してくださいました。
- ・高齢の方が施設に入る際に、ケアマネージャーを通して情報を得て、様々な施設を教えていただいたり、介護の内容を詳しく教えていただいたりサポートしてくれるので、家族も安心していただけることができる、なくてはならない方達だと思います。
- ・お年寄り等が増えてくると、今後ますます需要が高まってくる事業だと考えられる。さまざまな場に対応できるように情報を幅広く収集したり、スキルをしたりしてほしい。
- ・ホームヘルパーの欄でも書きましたが、ケアマネージャーは特に気を付けてほしいと思います。私は知人の家の話を直接聞いたり、その家族のことを聞かれたりした事がありますが、そのような教育を徹底してほしいと思います。
- ・本人が希望しなくても、サービスの提供が必要な方を支援できるように、住民により添って欲しい。
  - ・連絡調整をもっとしてほしい
- ・ケアマネージャーの動きによっては利用者に安心感が生まれたり、時には不安にさせたりすることがあるので、大事な仕事にあたっていると思います。型通りでない連絡調整をお願いします。
- ・ケアマネージャーの仕事の内容が分かりません。申し込みは、どこに相談したらよいのでしょうか。
  - ・同居家族がいても利用する事が出来るか。
- ・何名位いるのか等よくわからない。各施設などにもいたりするようだが、そもそも仕組みがわかっていない（自分が）年を取ると介護サービスはとても必要。
- ・利用者へ月に一回、ケアマネージャーが訪問して、捺印すればすぐ帰るので意味がわからない。
- ・利用していない身からすると、居宅サービス計画（ケアプラン）という言葉から、どういう内容なのか全然わからない。
  - ・今後益々拡大、ケアマネさんの増員が必要。
- ・人員不足はいなめない？状況は繰り返すか。
  - ・支え合える心が大切。
- ・社協が行っているとは知らなかった。

#### **【18. 介護認定調査事業】**

- ・利用させていただき、助かっております。
- ・初めてで、不安なことばかりでしたが、ていねいに説明、そして、手続きして頂きました。ありがとうございました。
  - ・とても的確に調査していただきました。
- ・おじいさんの時にいろいろとやってもらった。この介護保険サービスがないと個人では無理。ずーっとやって欲しい。
  - ・現在お世話になっております。大変幸せです。
- ・まだ必要ないのでわからないが、いつどうなるかわからないので、こういうサービスは必要だ

と思います。

・介護認定調査をお願いするまでの間が難題だと思います。受ける方もプライドがあり認定調査に来て、普段と違って何でもできるようにふるまって家族も驚くという話をよく聞きます。本人の前では話せない事もあると思うので、見極めが必要かなと。

・介護保険はまだ、一度も利用してませんが、認定審査に時間がかかる話を聞いた事があります。

・介護認定審査をお願いしたことはありましたが、審査までかなりの時間がかかった記憶があります。もう少しスピーディーにしていきたいと考えます。

・認定審査が月一回から月二回に増やせないのか、審査会開催は大変だろうが結果待ちは一日でも早く、サービス利用したい方いると思います。

・調査員は、任期とか経験とかの利用で判断が異ならないようにしてもらいたいです。

・介護認定審査会の認定と現場での判断にずれがある。

・判定のコンピュータにまかせきりにしないで、本人の状況を把握して介護度を決めてほしい。  
・理解しないまま、判定されていると思われる。

・細かな配慮するところとかは行政では難しいと思うので、社協のような組織が入ると良いと思う。介護認定のための調査項目が細かく決められていることはわかるが、項目にあてはまらない部分や、項目では介護度が低くなってしまいが、実際の生活では困ることがある。など判定に活かされない部分もあるのではないだろうか。

・一日の審査で何がわかるのか？

・介護認定受ける規定が、どこまで障害があると受けられるのか、詳しく知りたいです。

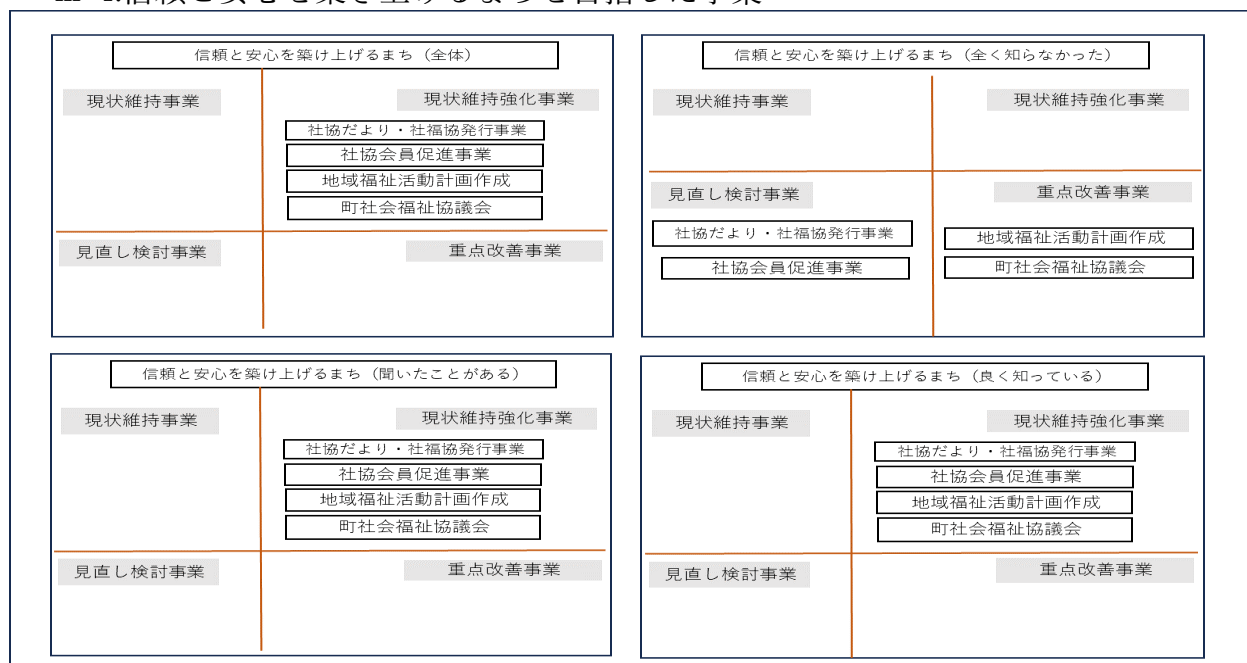
・介護認定申請及び審査がどこで行っているのか知りませんでした。

・介護認定調査の実態が分からない。 ・町との連携を、充分にお願いします。

・よくわかりません。でも、人のためになる事は良い事です。頑張ってください

・介護認定調査は知っていたが、社協が委託を受けて実施していることは知らなかった。

### III-4.信頼と安心を築き上げるまちを目指した事業



信頼と安心を築き上げるまちを目指した事業では、「全体」「聞いたことがある」、「良く知っている」の群が、すべての事業に対して期待度と満足度が基準値に達しており、現状維持強化事業であった。

ただ、全く知らなかった群では、社協だより・社福協発行业と社協会員促進事業（会費）が期待度と満足度の基準値に達しておらず、見直し検討事業であった。

また、社会福祉協議会の周知度については、広報の内容及び地域福祉活動の充実を図るとともに、地域住民との関わりを深める必要がある。

◆自由記載（※自由記載で全く同じ文言やほとんど内容が同じ意見、要望などについては、割愛させていただきます。）

#### 【19. 社協だより・社福協発行业】

- ・広報を楽しみに待っております。
- ・社協だよりを見ると、どのような活動をされているのかが詳しく分かるので、町民の理解も得られると思う。
- ・子供達から（大人）高齢者まで色々な活動を感じて楽しんで読んでます。
- ・困った時の連絡先も載ってて安心です。これからも続けてください。
- ・常に目を通して興味を持っています。 ・頑張っているので何もいう事はありません。
- ・知らなかったことが多く、社協だよりを再度読み返すことが必要なのかなと思いました。
- ・『社協だより』も必要です。 ・情報の発信はとても大切。
- ・広報の回数はもう2回ぐらい増やして社協の活動の様子・現状等をもう少し知らせた方が町の方々も社協という（社会福祉協議会）というところの情報を見ることができると思います。
- ・年4回を、もっと増やせないものか？ 情報が遅くないか？
- ・町の広報は、毎月の発行なので、綴ってありますが・・・「社協だより」は回数が少ないので、保存(?)もされず・・・見はしますが、内容も忘れがちです。申し訳ない事です。
- ・発行回数を2ヶ月に1回、又は毎月発行したらどうか。社福協も年3～4回にするのはどうか。ただ報告だけでなく、利用者の感想あるいは「私はこう思っている」など連載しておもしろ味があるようにしたらどうか？今の広報は報告だけでしかたなく出している感じがする。
- ・もっと具体的な事業内容の情報を流してほしい。
- ・予算の関係で内容が限定されることがあると思うが、年4回のたよりのうち1回は何かの特集に使うなど変化があっても良いのではないか。
- ・前のページでかかせていただいた視点で、記事を書いていただければうれしいです。”活動の報告”だけの視点にならないように。
- ・協議会の活動を知る唯一の広報である。もう少し見やすいレイアウトであればなおよろしいかと。協議会や評議員の選任はどのようにして決めるのかわからない。
- ・社協の活動を周知するために必要かつ重要なことだと思います。

・その発行物はどの位の人が目を通してはいるかは把握されてるのでしょうか？今どき電化製品の説明書はダウンロードするのが当たり前の時代に時代錯誤だと思います。ダウンロードできない人用の部数を印刷、配布すればいいのでは？不要な人に配るのは無駄です。その分のお金を他の必要とされている事業に回して欲しいです。

・「広報」の他に社協の事業を紹介するパンフレットの作成と配布、ホームページをつくり、タイムリーな活動を紹介などはいかがでしょうか。

・制度的な事などを、もっとPRしてもらいたい。

・インターネットのホームページの作成の上、情報の発信が必要ではないでしょうか。

・事業報告を読んでも、忘れてしまう事もあります。アンケートでその事が分かりました。すみません！！できればもう少しやわらかい（分かり易い）言葉で書いて頂けたらと思います。（これ以上は無理かもしれませんが。）

・今回の調査で、社協だよりをいかに熟読していなかったか分かりました。恐らく、情報誌をよく読んでいれば、すべての設問に「良く知っている」と答えられたと思います。反省しております。

・配付の方法。町内の役員になると負担。

・ほとんど読まない。

・内容に全く興味なし。

・身近に感じた事はない。

## 【20. 社協会員促進事業】

・会費の徴収した事がありますが、1回では徴収出来ず何回かになります。中には嫌みや文句などで、違う徴収方法をお願いします。

・募金に協力していただけないお宅もあるのでは？集金を担当する方も負担に感じていると思う。

・集金係の方は大変だと思います。時代は変わってきており、訪問徴収は？どうでしょうか？

・町内会費や赤い羽根募金、交通安全費など何度も各家庭へ訪問があるため、取りまとめて欲しいです。

・町内会費とダブる事が多いので、一括で支払いできるシステムとかあればうれしい。

・そもそも、町民から会費を徴収することが間違っている。

・強制は、いかがなものか？

・町内会会長で、募金等の徴収が一番大変だった。半強制的な寄附には不満です。

・社協の意味合いは理解しているが、この高齢化社会に於いて、年金生活者や低所得者への会費の徴収等をもっと考慮するべきでないかと思います。

・町内の福祉員が難儀している。町内会での徴収が当たり前と思わないでいただきたい。まったく、理解。もしくは反対の人もある。

・福祉員でなく、町内の班長が徴収に来るのはなぜか？町民はすべて会員になっているのか？

・うちの町内会では、各班の班長が集金に歩いているのではないのでしょうか？「赤十字会費」「歳末助け合い」も班長がその都度、集金に回ります。自分個人の考えとしては、町の福祉への会費は喜んで出したいと思っているが、「赤十字」や「歳末助け合い」も寄付といっても金額が決められていて、町内の顔見知りの班長さんに対して辞退は申し述べにくく、（断ってくる方も中にはいるのですが）半分強制的な集金になっているのが日頃疑問に思っている点です。各種寄付金の徴集に町内会を利用するのは、一度協議があっても良いのでは？

・以前「会費」の徴収に伺った時の話ですが・・・「このお金はどのように使われているのか？」と質問された事がありますが、『社協からの報告書』を見て下さい」と答えましたが・・・

- ・福祉員が徴収に来たことがない。しかし、各班長が町内会費、赤い羽根募金、社協会費等を徴収している。また、個人によって徴収額が異なる理由が分からない。同額徴収ではないか。
- ・会費はやむなしと思います。ただ募金と集金の違いはどこにあるのか？
- ・お互い様ですから。 ・必要なのであればいいと思う。 ・必要なことだと思います。
- ・知ったことで、気持ちよく払えます。
- ・明るく人々と接し楽しんで仕事なさっている皆様に感謝しております。
- ・皆快く納めてくださり感謝です。(2年集金担当でした。)
- ・徴収のチラシに会費の使い道が示されたのは良かった。
- ・今の会費で、今後も間に合うのでしょうか？ ・会費はもう少し上げてよい。
- ・我々の生活の一番身近な活動の継続の為、必要な資金は協力したいと思う。
- ・町民が安心して生活できるようにお願い致します。 ・応援してます。
- ・福祉員の負担が大きいのではないかと心配しています。ご難儀をおかけして、感謝しております。 ・収支をわかりやすく、見える化してほしいと思いました。
- ・会費については理解しています。ただし正しい使い方をして欲しい。
- ・お金のことはどの仕事でも同じですが、いつでもしっかり報告できるようであればいいと思います。 ・有効に使ってほしい。
- ・町民として社協の会費はあたり前の事と思いますが、加入もせずに社協のお世話になっているのはどうなのか疑問です。それから福祉員としてまわっている時、大口になられている方から、なぜ自分のところはそうなのかと言われ困った事があります。ある程度の説明は必要かなど。
- ・一律の徴収のみで、募金活動の様子が見られない。本来の目的を広く知らせる活動へ、立ち戻ってはどうか。
- ・会費を納めない人がおります。その人がサービスを受ける事になった場合は、どうなるか。
- ・(人件費について) 人間社会において重要な福祉の仕事を担当の方々の報酬給料を上げる策はどうしたらよいか。
- ・福祉サービスを受けている人の大半は子供や高齢者などかと思われれます。それなのに高齢者ばかりのこの町で募金して、困っている高齢者から金を徴収してそれを困っている高齢者に還元するなら、最初からお金をまきあげなくて良い気がします。7月に町内をまわる福祉員の方々が気の毒です。 ・人口減になると、会費増も検討するのでしょうか？
- ・会費が足りないのならば、まず自分たちの給与から出すとか、それでも足りないのならば会費を上げることも良いのでは。配達については町の広報配布時一緒にしてもらおうとかはどうか？
- ・必要な資金は税金でまかなってほしい。
- ・国からの助成金があっても良いのでは？

### 【2 1. 地域福祉活動計画作成】

- ・地域福祉活動について、この場で良く知っていたつもりでしたが、実際、利用した事がないので90点にしましたので、これからも、満足できるように期待しています。
- ・誰もが自立し、安心して暮らすことのできる町づくりはとても大切なことだと思います。
- ・地域福祉活動計画の策定は必要不可欠と考えます。その実施の活動実績、効果等が知りたいです。 ・大変なことでしょうが、報告も「活動計画書」知りたいと思います。

- ・いい計画だと思います。 ・計画が単に計画で終わることのないよう取り組み願いたい。
- ・実効性のある計画、実施を期待しています。 ・応援しています。
- ・全国のモデルになるような町づくりを、目指してほしい。
- ・作成の過程が大切だと思う。添付される資料に行政とのつながりが分かるものもあれば、連携に結びつかないだろうか。 ・誰でも普通の生活をして欲しい。
- ・社協が主体的に移動販売車などを運営していただければありがたいと思いますが、構想などありませんでしょうか。 ・町内で買い物が出来る場所が少なくなっております。
- ・町が主流なのか社協が主流なのか良くわからない。どちらも同じことを行っているのなら一本化したらどうかという考え方も持っています。
- ・地域の実態を、よく把握した上での計画策定としていただきたい。他地域とは違う内容の、この町に合ったものを検討してほしい。
- ・計画→実行→チェック→アクションを繰り返し、活動してほしいです。
- ・「地域福祉活動計画」普通の会話の中においてこれでは先に進まない。ハローワークがしんとうしているように、カタカナでもいいから町民に理解しやすいかんけつな名前を提案する。例・上昼根アクションプラン ・名称がわかりにくい感がある。
- ・どのように計画され実施したのかが、もっと見えると良いのではないのでしょうか。
- ・取り組みは良いとするが、宣伝が足りず分からない方が多いのでは。高齢者のことが多く、若い方や中年の方々も交えた活動は？ ・地域住民によく伝わっていない
- ・大事なことだと思います。住民も考えなければと思います。
- ・よくわからない事業である。最初にこの計画があり、それに添った各種事業を展開しているものと思うが、この単体の計画そのものがわからない。
- ・水害や災害があった時、一人暮らしの高齢者や障害者に対してどのように対処してくれるのか全然見えません。それで安心して暮らせるのでしょうか。
- ・活動計画を見たことがないのだが、関心が薄いせいだろうか？
- ・このご時世安心して暮らせる事ができない。 ・恩恵を受けている感じがしない。

## 【2.2. 町社会福祉協議会】

- ・町が「福祉」の町づくりを目指しているのは知らなかった。いつどうなるかわからないので「福祉」は必要だと考えています。
- ・町のために多くの活動をこなしている事、全く知りませんでした。一人暮らしになっている、生活保護を受けている、家族に介護者がいる人などは町で分かることなので、一年に一回でも訪問したらどうでしょうか？
- ・アンケートをもらって初めて町が一生懸命なことをしていると改めて思い、答えができませんでした。 申し訳ありません。
- ・アンケートをする意味は分かりますが（期待度）満足度は使用しないと答えられない面があると思いますので、予算をかけてして役に立つのかなあと、不思議に思いました。無記名でなく、記名された封筒に入れ提出するとなると、本音の気持ちが出るのか、とも思っています。 ご苦労様です。 ・民間だと思わなかった。公務員だと思っていた。
- ・一般の民間の介護サービス施設との違いがよくわからない。少し公的などころがあると思って



いた。 ・スローガンは素晴らしいですが・・・。是非頑張ってください。

・社協のスローガン、この10年間変わらないのは、方針がブレず良いことなのか、又は創意工夫の欠如か？ ・スローガンをもっと町全体に広げてほしい

・この調査票について、意見・要望欄が多すぎます。同じような内容になってしまいがちです。要約して記入できるような形でよかったですのではないですか。

・今回の社協の調査票はとてもわかりづらい。自分たち（社協の職員）が主になって町民の立場に立っていない。全てが経験していないと書けないものがほとんどであって、その上点数を付けなければならず、要望に応えられないのがほとんどであった。

・このアンケートを通して知ることができた、福祉の活動がありました。誰でも高齢者になるので、利用することもあると思います。社会福祉協議会の活動が、今後も継続して行われて行ってほしいと思います。

・三種町の社協とは、福祉教育で連携していて、車いす体験、アイマスク体験、手話、障害者スポーツ、サロン訪問と交流等、年間を通して小学生と一緒に学習する機会がある。八郎潟は?! あまり聞かない・・・。福祉の教育を少しでも小学生からできたらよいかも。

・今後も安心してくらしていける福祉のまちづくりを進めて下さい。

・色々な事業をやっているようですが、本来の福祉を忘れないよう頑張ってください。

・これからも人々のために頑張ってくださいと思います。

・老人2人の生活です。困り事が起きるでしょう。相談したいので、よろしく願い致します。

・PRが大事だと思います。期待しています。

・良く頑張ってやっているとありますが、求めるものと違いが出てきているように思います。制限のある中での活動は難しいと思いますが、ニーズに合ったものを期待します。

・まだ家族では介護が必要になったことはありませんが、本当に必要になった時に親身になって対応してほしい。

・社協の皆様へ! 大変な事が多いと思いますが、今後とも宜しく願い致します。

・若い頃はあまり関心がありませんでしたが、年を重ねるごとに「社協」の必要性を感じております。

・八郎潟町の福祉のため、誰もが自立し安心して暮らせるために、いつもありがとうございます。これからもさらなるご活躍を期待しております。

・将来、誰もが高齢者となり、福祉のお世話になるかも知れないので、町民全体で支えていけるような体制づくりを、今後も期待する。

・現在（79歳）一人居です。いろいろ利用して、お世話になると思います。非常に期待しています。 ・日々の努力に感謝です。

・地域のために大事な組織だと感じております。高齢化が進んでいる現在では、さらに業務が増えていることと思います。接続可能な組織であってほしいと思っております。

・夫が病氣した時、大変お世話になりました。あの時、親切にいただいた事は忘れられません。 ・町の福祉を支えるために、「社協」は必要不可欠な機関だと感じる。

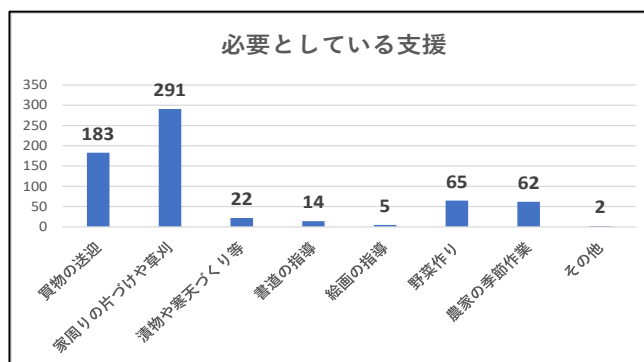
・長男夫婦と同居しており、手伝ってもらいたい事は全て頼んでおります。94才と91才の高齢夫婦なので、行動する地域貢献はできませんが、夫婦で元気に暮らしていく事が、自分たちなりの地域貢献だと思っております。

- ・ 実際身の回りで社協を活用した人を（相談した方）知らないのでは、なんとも言えないが、町民が安心して生活できるよう頑張ってもらいたい。老人が増え、困っている人も多くいると思う。
- ・ 高齢者のごみ出し、雪かき、町内会の班長などは可なり負担になっているので、考慮を。
- ・ 社会福祉協議会がどんな事をしているのか知っていない住民がほとんどだと思います。モデルサロンのような集まりをもっともっと開催し、町民に職員の大変さを知ってもらってもと思います。私達は介護保険についても大変勉強になりました。頑張ってください。
- ・ この町は、地域住民が自主的な活動が盛んだと感じているが、社協がその力を十分に生かしていないように感じる。住民を支える社協であって欲しい。
- ・ 私の思う事は、安心して暮らせる福祉の町作りであれば、我家で一人でいて人との付き合い・会話もなく、こういう事何度もあり、見守りをお願いしたいです。
- ・ 八郎潟町社会福祉協議会のインターネットのホームページがないようですが、広く町民に認識させるため、また活動の広報の充実、コミュニケーションの促進のためにも発信が必要ではないでしょうか。
- ・ 町が主流なのか社協が主流なのか良くわからない。どちらも同じことを行っているのなら一本化したらどうかという考え方も持っています。
- ・ 「社協」という名前は知っていましたが、どんな仕事をしているのかは、ほとんど知りませんでした。住民に寄り添った活動をされている事が分かりましたが、もう少し、活動の内容を詳しく教えて欲しいです。
- ・ 社協さんは知っていますが、今回のアンケートの事業はあまりよく知りませんでした。どうやったら知ることが出来ますか。広報を読めばわかりますか。困ったことがあった時、誰に相談すればいいですか。
  - ・ 存在自体興味がない。
- ・ 社協は知っているが、八郎潟町の福祉員の活動は見たことがない。
- ・ 地域づくりは人づくりである。人はそれぞれ違い、その特色を伸ばしていく、行政（役場）の変化、スピードなくして未来はない。

### III-5 必要とする支援と、できる地域貢献について

#### 【必要としている支援】

必要としている支援	件数	%
買物の送迎	183	28.4%
家周りの片づけや草刈	291	45.2%
漬物や寒天づくり等	22	3.4%
書道の指導	14	2.2%
絵画の指導	5	0.8%
野菜作り	65	10.1%
農家の季節作業	62	9.6%
その他	2	0.3%
合計	644	100.0%



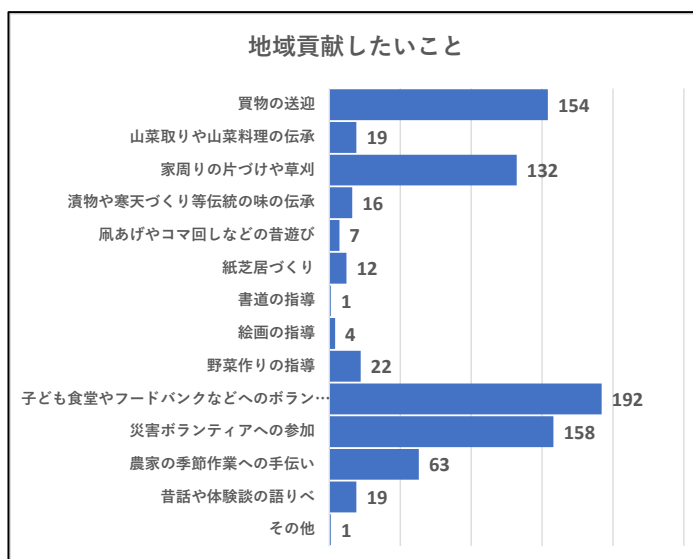
必要としている支援については、家周りの片付けや草刈が291件（45.2%）と最も多く、続いて買物の送迎が183件（28.4%）、野菜作り65件（10.1%）、農家の季節作業62件（9.6%）となっている。

また、子育てしている若い世代から多かったのが、書道の指導で14件(2.2%)であった。

総体的には、若い人の支援が欲しいと思われる項目が多く、高齢化社会の進行が反映しているといえる。ただ、家周りの片付けや草刈については、若年層の要望も以外に多く見受けられた。

### 【地域貢献したいこと】

地域貢献したいこと	件数	%
買物の送迎	154	19.3%
山菜取りや山菜料理の伝承	19	2.4%
家周りの片づけや草刈	132	16.5%
漬物や寒天づくり等伝統の味の伝承	16	2.0%
凧あげやコマ回しなどの昔遊び	7	0.9%
紙芝居づくり	12	1.5%
書道の指導	1	0.1%
絵画の指導	4	0.5%
野菜作りの指導	22	2.8%
子ども食堂やフードバンクなどへのボランティア	192	24.0%
災害ボランティアへの参加	158	19.8%
農家の季節作業への手伝い	63	7.9%
昔話や体験談の語りべ	19	2.4%
その他	1	0.1%
合計	800	100.0%



地域貢献したいことについては、子ども食堂やフードバンクなどへのボランティアが195件(24.0%)で最も多く、続いて災害ボランティアへの参加が158件(19.8%)、買物の送迎154件(19.3%)、家周りの片付けや草刈132件(16.5%)となっている。

また、子供向けと思われる、凧あげやコマ回しなどの昔遊びは7件(0.9%)、紙芝居づくりは12件(1.5%)、昔話や体験談の語り部は19件(2.4%)であった。

総体的にみて、子供や困っている人たちへの支援に対する意識が高いことがうかがえる。ただ、買物の送迎と家周りの片付けや草刈りについては、必要としている支援と地域貢献したいこと、両方で選んでいる回答も多く見受けられた。

◆自由記載（※自由記載で全く同じ文言やほとんど内容が同じ意見、要望などについては、割愛させていただきます。）

### 【23. 必要としている支援】

- ・移動手段のない高齢者の普段の生活が気がかりです。ハチラボがなくなり、買い物に行く時は、これから必ず車が必要になります。金銭面の負担を最小限にし移動手段を利用しやすくするために考える必要があると思います。
- ・子育て中なので、高齢者以外でも買い物の支援（送迎や子どもの見守りなど…）があると大変助かります。（特に首がすわるまでの1～3ヶ月くらいまでが大変だった。）
- ・八郎潟町は秋田市や能代市どちらも遠く高齢者にとって公共機関をつかい、病院や買い物に行くことが大変だと思います。このような時、月1～2回でも高齢者が市内で用事を気軽に出かけられるような車やバスでの送迎があればいいなと思います。
- ・乗合タクシーの回数を午前、午後1本ずつ増やしてください。
- ・特に、年々、買い物弱者が増加する中、今まで、正直、好き勝手なお願いが出来ないまま娘、息子の親子、姉妹兄弟の親戚、友人、知人などに買い物をお願いしなければならない。やはり、自分の目で確かめて買いものをする喜びが一番であるので、買い物送迎事業等を実施できないでしょうか。
- ・一人暮らしで車もなく、病院に通う人々が多い中、交通手段としてタクシーだそうです。病院代より高くつくとか、他に交通手段はないのでしょうか。
- ・八郎潟町には温泉がないので、免許返納の高齢者の送迎があればいいかと思う。
- ・高齢者の病院の送迎。スマートフォンアプリの将来に向けての勉強会があればいい。
- ・秋田の病院へ行って急に電車が運休の時、八郎潟へ行くバスもなくてそういう時どうすればいいでしょうか。 ・免許返納した場合、買い物・病院など近くにないので、今から心配です。
- ・除雪をして行った後にならず大きな雪のかたまりを置いていかれるので困ってます。何とかならないのでしょうか。
- ・家の周り、道路までの私道などの除雪作業。男性（家族）がいて出来ている時はいいのですが、今後出来なくなった時のことを考えると… 女性だと出来る範囲があるので…
- ・ひとり暮らしの人にとって今の時期雪かき、雪寄せが大変だと思う。項目にあげてもよかったのでは？ ・母子家庭の家にも、雪かきボランティア行ってあげて下さい。
- ・地域的に雪国なので、高齢者女性にとって除雪車が過ぎた後の出口に盛られた雪の除雪は大変苦労している。何らかの対応が早急に必要ではないか。
- ・除雪車が入ってこないで、除雪を手伝ってほしい。
- ・除雪（私有地）町民の生活道路なのですが、夫が長年除雪してきましたが、障害者になり私もちょっとできなくなったので考えてもらえたら助かります。
- ・除雪ボランティアがあると助かる方がいるのではないのでしょうか。中学生などできないですか？まだ体も大丈夫なのでまだ良くわかりません。
- ・お手伝いしてほしい事 早朝の除雪作業（夜中の除雪で、家の前は雪に山状態で車の出入れができない状況に毎年なるので、町の除雪作業の改善をお願いしたい）自分も車両系の免許を持つ

ているので、会社での除雪作業も以前しましたが、町の除雪は後工程を考えていないのでヘタです。

・夫婦共働きが当たり前の時代なので、日中の雪かきを同居の親に頼むしかない環境です。なので、雪かき等の手伝いとかがあると助かるなどは思います。

・はちパルで月1度やっている店を上の方でもやってもらいたい。店がなくなって困っております。

・買い物出来るスーパーが一番ほしいですね。 ・1人暮らしの高齢者の話を聞く  
・この時代人とすれ違っても無視する人が多いです。まずは、おはようございますから、ご苦勞様、おつかれ様、こんにちはなど言葉を掛け合うことを教えていくべきだと思っています。お年寄り元気になります。ちょっとしたお声がけで！！

・仕事をしながらの介護がとても大変です。病院に連れて行ったり身の周りの事をしたり両親の不要になった物等の片付けが山ほどあって、自分の事をする時間がありません。特に、家周りや坪の草取りが出来ないので手伝って欲しいです。不要になった植木鉢も誰か貰ってくれる方が居れば譲りたいです。仕事と介護の両立ができるよう助けて欲しいです。

・空き家の草刈り

・自分自身も高齢者になってますが、また、自分で出来る事は、体が動く内はやっていきますが、終活に於いて、不必要な者を処分したくても、個人への軽トラックの貸出しや捨てる場所も近くに無く何をするにも金銭的な問題も有り、どうしたら良い物かと考えています

・粗大ゴミの運搬 ・大きい物の片付けが大変。 ・放置空き家なんとかして。

・パソコン、プリンター、ワープロ指導、インターネット指導。

・認知症の方が普通に地域で暮らしていけるよう、本人だけでなく、家族の方のために何かできればしていただければと思います。

・例えば、書道の指導をして欲しい、などの場合は、教室等を開催するといった感じですか？（八郎瀧町に書道教室がなく、他町へ行っているの、気になって書きました。）

・緊急時や放送を役場で流してありますが、少しの風でも何を言っているのかわかりません。全く聞き取れない時が多くあります。役場から100メートルしか離れてませんし、外に出てもです。

・防災無線の聞き取りアンケートを取ってみてはどうですか？何が起きるか分からない世の中です。

・福祉は、高齢者ばかりでなく、子育てで奮闘している親の支援も必要ではないか。  
・若者には、何もメリットが無い事業多く、ただ高齢者や体の不自由な方のみを目線が向けられて、自立し早急にこの町を出た方がいいと思っている。若者や子供に重きをおかなければ町を存続していくのは難しいのではないか？

・子供が春休み、夏休み、冬休み期間中に、仕事がある親はどうしても学童に子供を行かせることになるので、その期間中は朝早くから子供にお弁当を作るが、中身をどうするか、栄養面は大丈夫か、キャラ弁にしなければなど、色々親として非常に負担を感じているので、学童用のお弁当を提供（予め注文方式）するなどの子育て支援事業に取り組んでももらいたい。

・社協について、私の認識では何をしている団体なのか不明です。たよりだけ見てもよくわかりません。いくら掛かり、いくらあまっているのか、さっぱり伝わってきません。しかし、年配の方には必要な団体であると思いますが、よくわかりません。

・いろんな調査項目があり、社協のやっていることをもう少し町民にわかりやすく周知した方がいいと思う。例えば、社協がやっている仕事を冊子にして配布するとか、なかなか名前は聞くが、

実際どういうことをやっているかよくわからないと思うので、ぜひ実施していただきたい。

- ・他町との違いを子供ながらにずっと感じていた。この町に期待価値はない。
- ・町に期待することはない
- ・一番心配なのは人口も減っているし、福祉・介護サービスなどが制限されてくるのではと・・・。  
長く続いてほしい。
- ・高齢になり、いろいろな事業等あるのはありがたいです。だがまだまだ1人でやりたいことがありますので、その時間も又楽しみたいです。
- ・年齢的に90歳を目前にして、元気と健康を共に体調を整え、世の動きに関心を持って時代とともに長生きして楽しみたい。 職員の皆さん、日常ご苦労様でございます。
- ・町の行事など、なにか事をする時など知らないうちに事が進んでいる時が多い。
- ・フードバンクは賞味が切れてても、缶詰等は食べられるので切れたものでも OK の人には提供しても良いのではないか。

#### 【24. 自分ができる地域貢献】

- ・上記の事柄については、地域支援コーディネーターが重要な役割を担うと思われます。高齢の方々のニーズをすい上げ、ボランティアの人達への橋渡しが必要と思われます。
- ・ボランティア自体敷居が高いが、今年の大雨で五城目の大変だった所へ、県外の方々もボランティアに来ているのに、隣接する町に住んでいながら何もしなかった。自分でも何かできる事はなかったのかと感じる。
- ・地域貢献したい事は、自分も災害2度ほどあり、災害ボランティアへ貢献してやりたい気持ちはあります。(車の中で自分精一杯にげるのが、左車線の青の車水害で車の頭まで、助けたかったが自分の車で逃げるのがやっとでした。秋田で怖い経験あり)
- ・隣の家の方が高齢者の為、冬になると何を言われるまでもなく、夫や子供が雪かきをしています。頼まれたからやる、無料だから電話して利用してください。では行動するには遅すぎるように思う。
- ・秋田市などでは、フードバンクの事を広く知らせて食品を寄付する店や個人が多くいると思います。八郎潟町でも、ポスターなどで誰にでも目につくようにして集めている場所をわかりやすくしたら良いと思います。
- ・栄養士を目指しているので、そういったボランティアがあれば時間がある時に是非参加したいです。また、伝統の味の伝承を受け継ぎたいです。近隣地域に子供食堂がないので、是非行って見てほしい。フードバンクについては、高校の頃1週間程まだ食べられるが、廃棄する食品を集める活動があったため、学校でやってみても良いと思います。
- ・もらったものの、食べない=捨てていました。1ヶ月に1回とか、持ち込める日を設けて、広報なりで知らせてほしいです。皆で助け合うには、町民の手は絶対必要です。一週間の内一日くらいは、時間をあけられる等の人材バンクを設けたらいかがでしょうか？全くのボランティアではなくて、ゴミ袋1枚とかティッシュひとつとか見返りがあるとやる気ができるのでは？奉仕した時間をポイント制にして何かを交換できるとか。
- ・家庭菜園を少しやっているのですが、収穫した野菜を形の悪い物とか小粒の物とか、食べられるのに捨てている。子ども食堂とか必要としている所がないかいつも気にかけているが、どこへ

持っていけばいいのかわからずにいます。

- ・子ども食堂があったらボランティアしてみたいです。
- ・趣味のレベルだが、ピアノの調律ができる。ご要望があれば、応じたい。
- ・毎年、八郎潟町こども園、中学校へ茶道を指導に行っている。日本の文化である茶道を、少しでも若い人達におぼえてもらいたい。
- ・地域貢献はお抹茶のみ方、点て方等を考えております
- ・私が貢献できることは手芸です。お手伝いしたいと思っています。
- ・"祖父母が料理が上手だったり、昔ながらの遊びを教えてくれたので、地元で地域貢献するのは楽しそうだしやりがいがありそうだなと感じる。
- ・お喋りしたい高齢者がいれば話をじっくり聞いてうなづく。
- ・病院への送迎、薬局への送迎、受け取り代行。買い物代行、家事代行、便利屋的軽作業等。
- ・自分自身の生活に時間的に余裕ができれば、何かのかたちで地域貢献できたらいいとは思っている。
- ・私の住んでいる行政区の高齢者は、とても優しい方たちが多く、この行政区に住むようになってから高齢者の方々から助けられることも多くありました。次は、地域貢献としてできることを少しずつ行って行きたいと考えています。高齢者の方々に感謝の気持ちを込めて、活動できたらと考えています。
- ・今はまだお手伝いしてほしいことはありませんが、仕事をしていても地域貢献は出来ることがあればしたいと思います。
- ・まだ、在職中なので、貢献は難しいですが、退職後は何かしらお手伝いできることがあると思います。・認知症の方が自宅で暮らしていけるよう何かお手伝いしたいと思います。
- ・仕事を持っている為、今は無理ですが補助として参加したいと思います。
- ・貢献したいことは高齢になり、できれば静的な仕事です。
- ・地域貢献については、これまで父が行事に参加していますが、対応できなくなれば参加します。人手不足などで計画通り進んでいない分野、今後検討している分野で人手確保が必要な時は、呼びかけて下さい。
- ・地域貢献について、自分に出来る事が有れば、出来る限り活動したく考えています。
- ・地域貢献できる事項について、上記13項目に該当するものはありませんが、可能なものがあれば貢献したいと考えます。但し、いくら貢献したくても事情により活動できない時期もあります。継続して出来なければ、軽はずみに申し出ることが出来ない事業でもありますので、今の私にとっては現在貢献する事が困難と言わざるを得ません。最後に、本調査の設問にある事業すべてを小冊子にまとめ配布して頂けると非常に有難く存じます。宜しくお願い致します。
- ・地域貢献はしたいと考えておりますが、自身の時間的に余裕が必要となります。できる範囲でお行いたいと思います。・町民の一員として地域貢献は必要と考える。
- ・今まで自分が行ってきたこと又趣味とかで役に立つことがあればお手伝いしたいと思います。
- ・老後の楽しみとして、南秋つくし苑（どんぐり支援）と共同で、絵手紙、貼り絵、書道（実用的なもの）などの文芸活動など気軽に参加が出来るようなのを企画してみたら如何でしょうか。町の社会教育分野でしょうが。無理かな。
- ・地域貢献活動や福祉活動については、正直利用している人がそばにいないとどういうことを行

っているか知りません。しかし、将来的に必要なことも多くあると思いますので、今から備えておきたいという気持ちもあります。年に1度でもいいので、社協ではこういうサービス等ありますという宣伝も兼ねて、広報に目立つパンフレットを入れても良いかと思います。詳細を書きすぎず、目に留まるような見やすいもので考えてみてはどうですか？

- ・除雪などのボランティアをしているが、燃料費など高くなって大変になっている（経済的に）。トラクターを使っただけの除雪ですが、トラクターのキャリアが壊れたりもして20～30万円もするので、かなりキツイ。ボランティアにも限界がある。

- ・「居場所づくり」→高齢者の自殺予防にも繋がる事業だと思っているので、どんどん広がってほしい。
- ・電線のカラス避け等のカラス対策に困っている人を見受けられる。清掃活動等は地域貢献になると思う。

- ・私が必要というわけでもなく必要とする人がいるのではと思う事ですが、雪かきの手伝い協力があった方がいい。高齢者をもつ家族がいる、軽トラがない等有料でも利用できればと思う。若い人と暮らしていても腰痛もちでできないとか、誰にもわからないから、そういうのを手をさしのべてほしい。

- ・地域住民の要望に耳を傾け、日常生活、地域が安心安全に生活できるよう、温もりあふれる福祉を望みます。

- ・知的障害者への支援（お手伝い）はあるのでしょうか？支援できる人材がいるのでしょうか？
- ・地域貢献したい事も、まだ会社勤めしている中ではなかなか時間がとれず難しい事だと思います。

- ・私は63才で脳梗塞を患い、右半身にしびれが強くのこり、特に右指前部と足1本～背中につっぱりが有り、動くのですが痛さが有ります。重いものを持ったり、歩きすぎたりするのがつらいです。膝おりが出来ません。ですので貢献したいのですが、なかなか思うようにできません。区内の少しのお手伝いでいっぱいです。

- ・記載されていることで私が貢献できることがなく、申し訳ありませんがお役に立てません。60代の頃は、体を動かしたり、歌ったりすることが大好きでしたので、社協さんのデイサービスセンターの皆さんと一緒に楽しみたいと思った時もありました。勇気がなくて今はとても残念に思っています。社会福祉協議会の皆様頑張ってますね。ありがとうございます。

- ・お手伝いしてほしいこと、地域貢献したいこと。してみたいとは思いますが、仕事と家庭で疲れてしまい、体力に自信がありません。また、コミュニケーション力がないのも心配です。

- ・技術や得意なことがなく、今のところ、子供たちに迷惑をかけないように思っています。このアンケートを見て、町の様子がいろいろ知ることができました。私からありがとうと言いたいです。
- ・日々の生活に追われ、「地域貢献」の設問は少々きついです。

- ・任意の割りに項目が多すぎる。ただ町のいろいろなことについて理解はしようと思う。お世話になることもあるかもしれない。それまでは無事に働いて税金を納めます。

- ・町内でボランティアや何か簡単なパートをしたいと考えているが、やり方がわからない。ハローワークにはいきたくない。